

Ⅱ 設問と回答分布

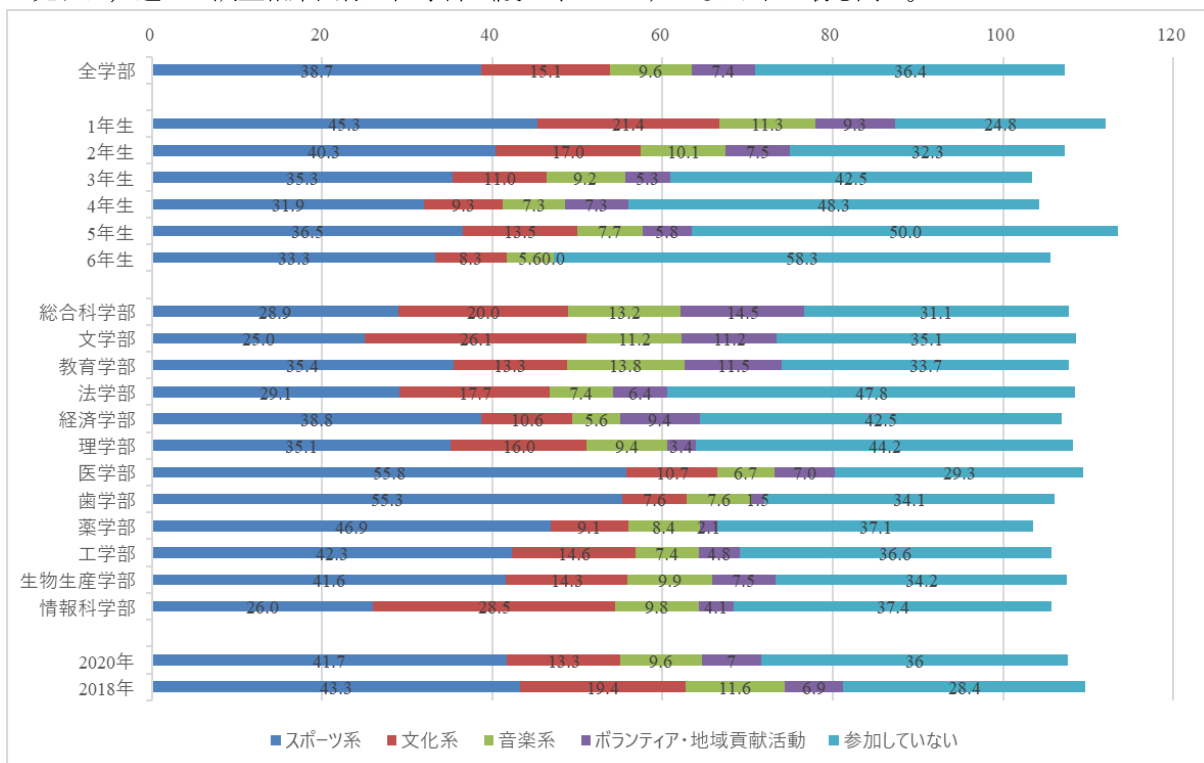
(※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合があります)

学部

1 課外活動の参加状況

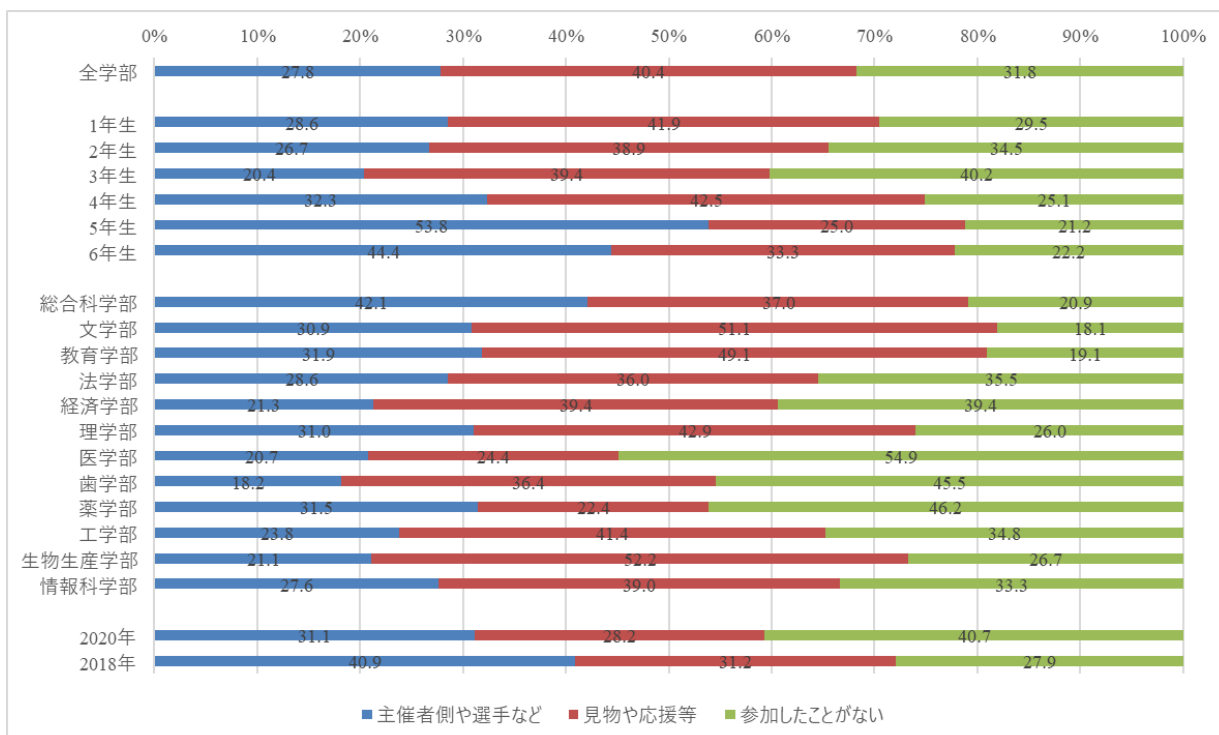
設問1 学内のクラブやサークル活動に参加していますか。(複数回答可)

全体の約63%は学内のクラブやサークル活動に参加しており、中でもスポーツ系が最も多い。ただし新型コロナウイルス感染症(以降、コロナとする)発生以前に比べると参加の割合は減少しており(2018年度は72%, 2017年度は70%), コロナ発生年の2020年(64%)と比べても増加に転じていないことがわかる。学部別に見れば、過去の調査結果同様に医学部(霞キャンパス)の参加率が最も高い。



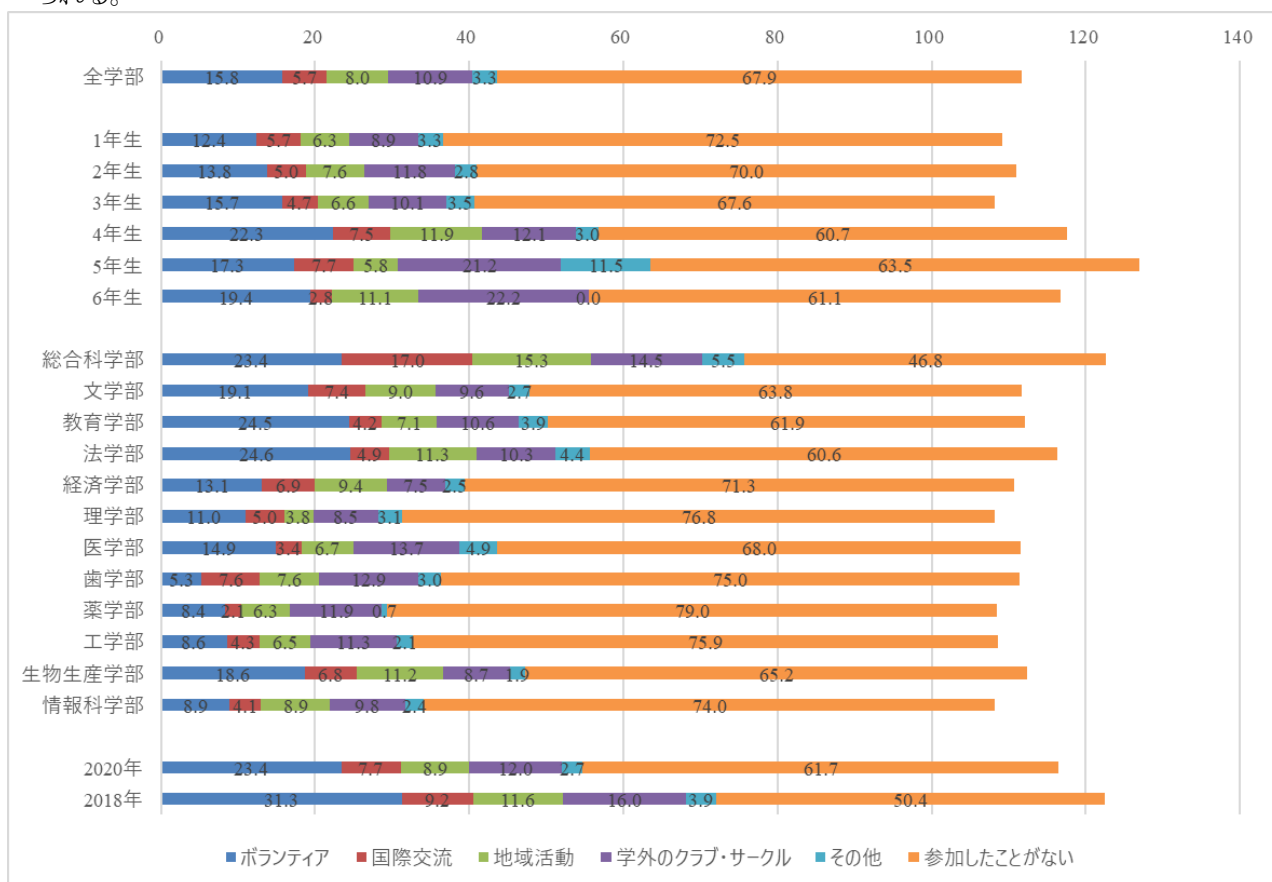
設問2 大学祭、ゆかたまつり、フェニックスリレーマラソン、霞祭等の大学の行事に参加したことがありますか。

コロナの影響で2020年度は中止をやむなくされた大学の行事だが、2022年度は対策を講じた上で2年ぶりに全面開催された。参加したことがある学部生は全体の約68%にのぼるものの、コロナ発生以前(2018年度は約72%, 2017年度は約77%)に比べれば低く、特にコロナ発生以降に入学した3年生以下の参加経験率の低さが顕著である。



設問3 学外のボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか。(複数回答可)

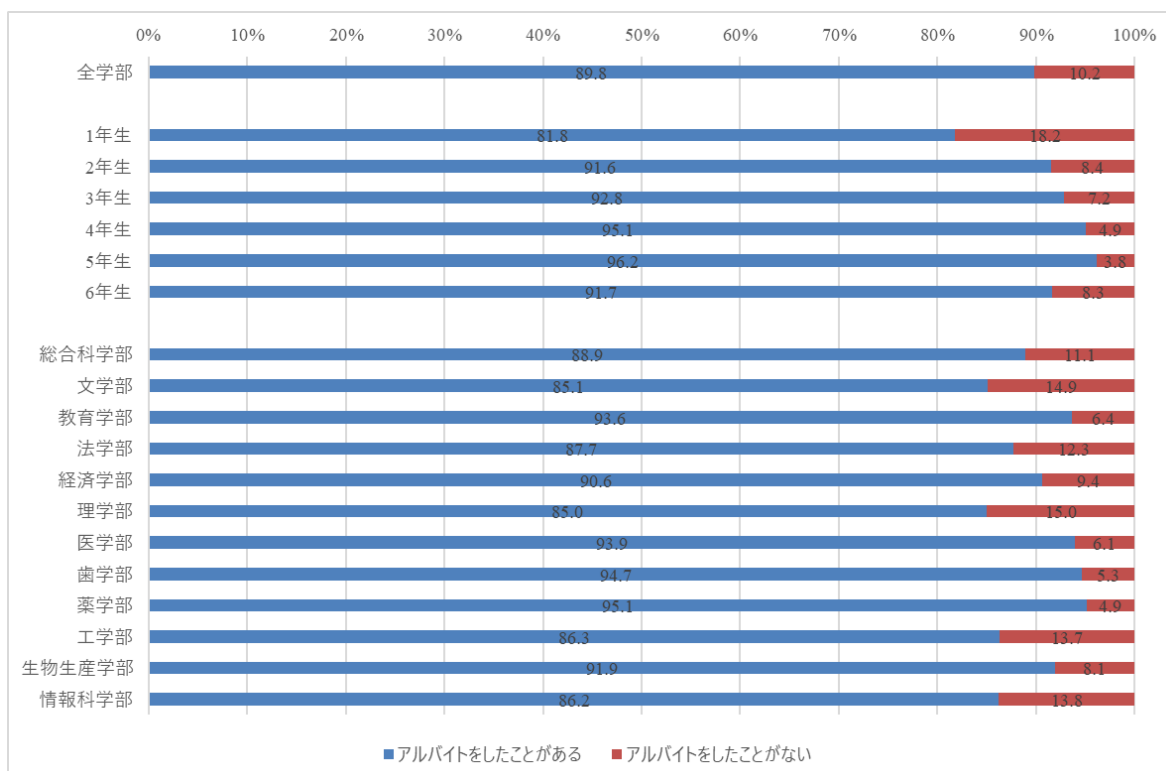
学外の活動への参加については、全体の30%強にとどまっている。コロナ発生以前(2018年度、2017年度ともに約50%)からは大きく減少しており、特にコロナ発生以降に入学した3年生以下の参加経験率の低さが顕著であることから、コロナの影響によって活動機会が少なくなったことが大きく関係しているものと考えられる。



2 アルバイトの状況

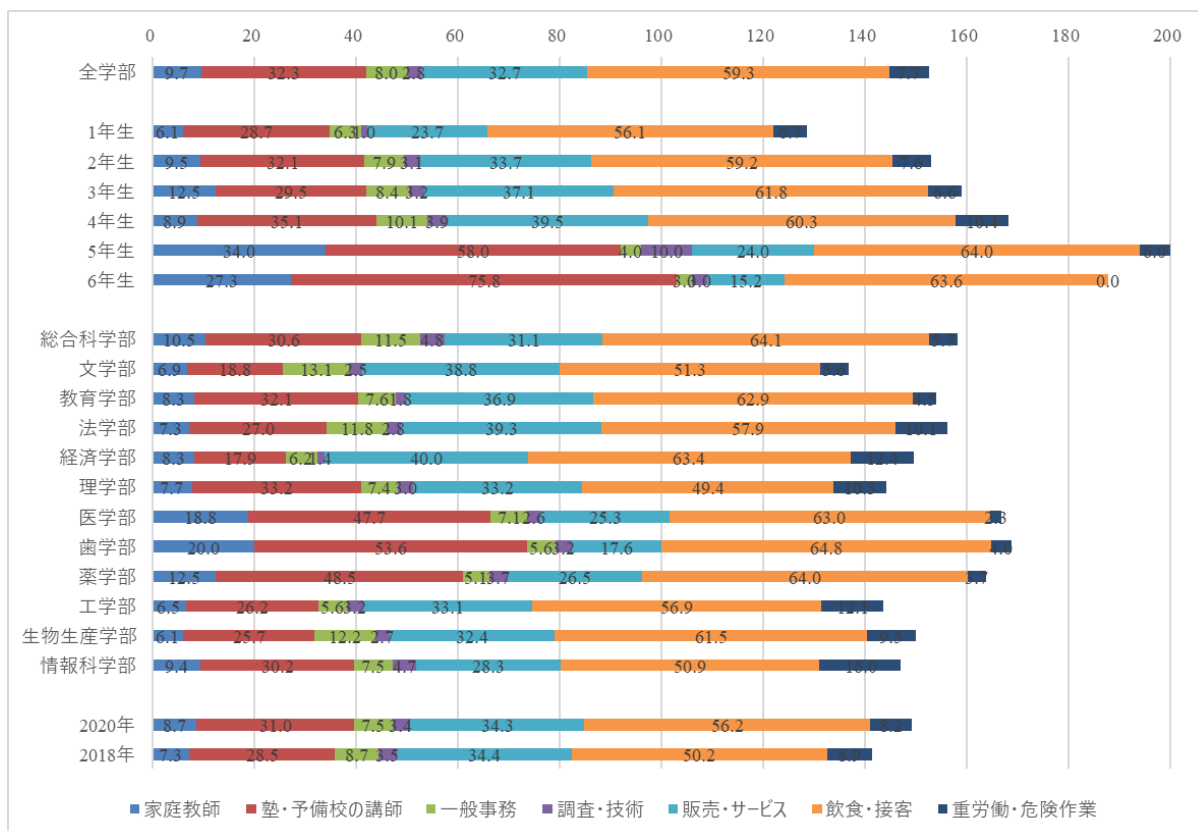
設問4 入学後何らかのアルバイトをしたことがありますか。

全体の90%近くが入学後に何らかのアルバイトを経験している。ただし、コロナ発生以降に入学した3年生以下のアルバイト経験率が低いことから、やはりコロナの影響がアルバイトの経験の有無にも関係していることが予想できる。



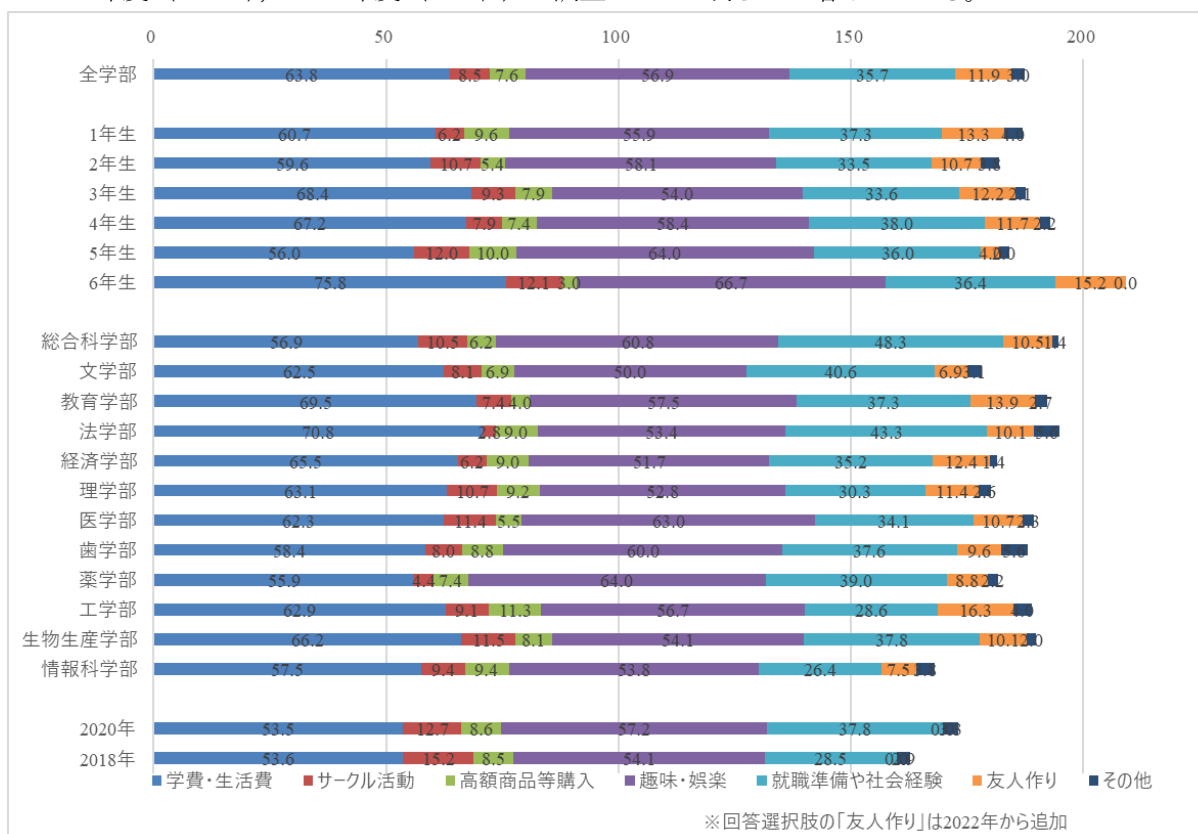
設問5 したことがある(又は現在している)アルバイトはどれですか。(複数回答可)

主なアルバイトの内容としては、全体として「飲食・接客」(59.3%)が最も多く、「販売・サービス」(32.7%)「塾・予備校の講師」(32.3%)と続く。学部別に見れば、「塾・予備校の講師」の割合が医学部(47.7%)・歯学部(53.6%)・薬学部(48.5%)において突出しており(いずれも霞キャンパス)、アルバイトの内容にキャンパスの立地も影響している可能性がある。



設問6 アルバイトの主な目的は何ですか。(複数回答可)

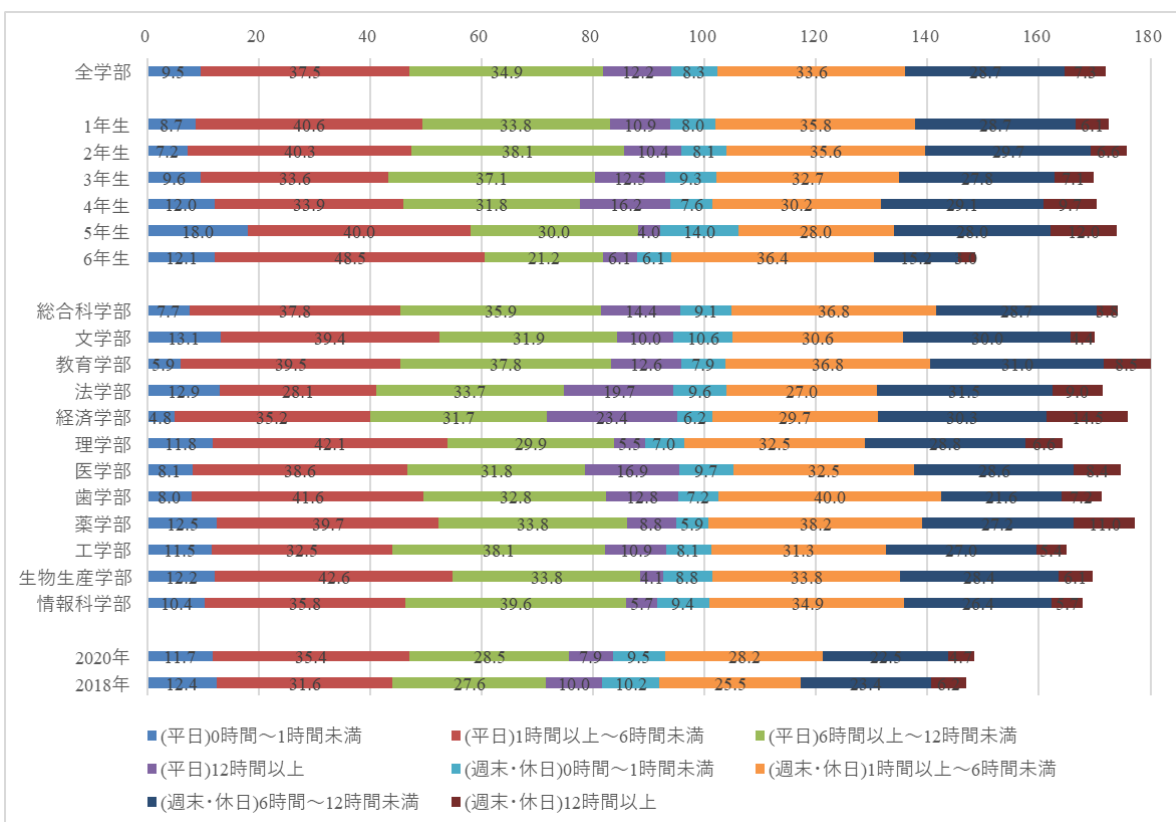
アルバイトの主な目的としては、「学費・生活費」を挙げた学部生が63.8%,「趣味・娯楽」と回答した学部生が56.9%という結果である。「学費・生活費」のためにアルバイトをしていると回答した学部生の割合が、2020年度(53.5%),2018年度(53.6%)の調査に比べて明らかに増加している。



3 経済状況

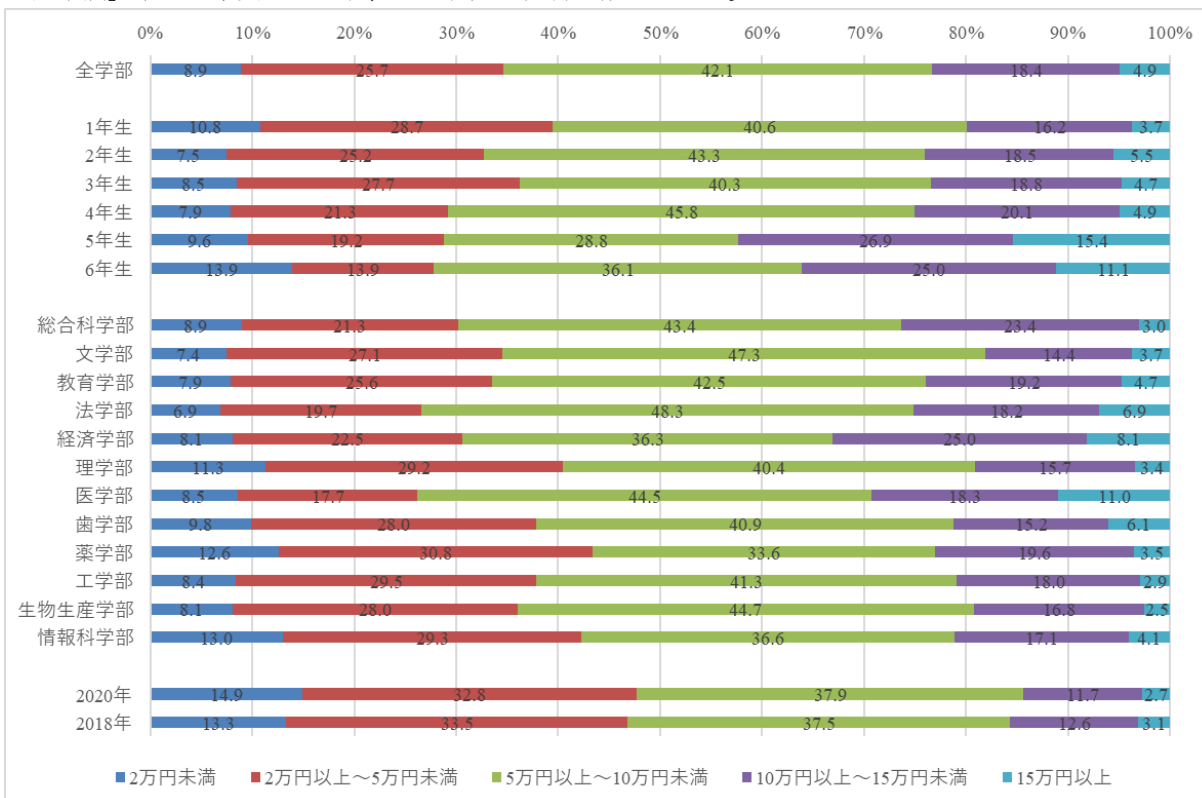
設問7 1週間あたりアルバイトを何時間していますか。「平日」及び「週末・休日」それぞれの中から1つずつ選択してください。

アルバイトをしている時間は、全体的に「平日 1 時間以上～6 時間未満」(37.5%) が最も多く、「平日 6 時間以上～12 時間未満」(34.9%)、「週末・休日 1 時間～6 時間未満」(33.6%) と続く。学部別に見ると、「平日 12 時間以上」「週末・休日 12 時間以上」の割合が多いのは、法学部 (19.7%と 9%) と経済学部 (23.4%と 14.5%) である。



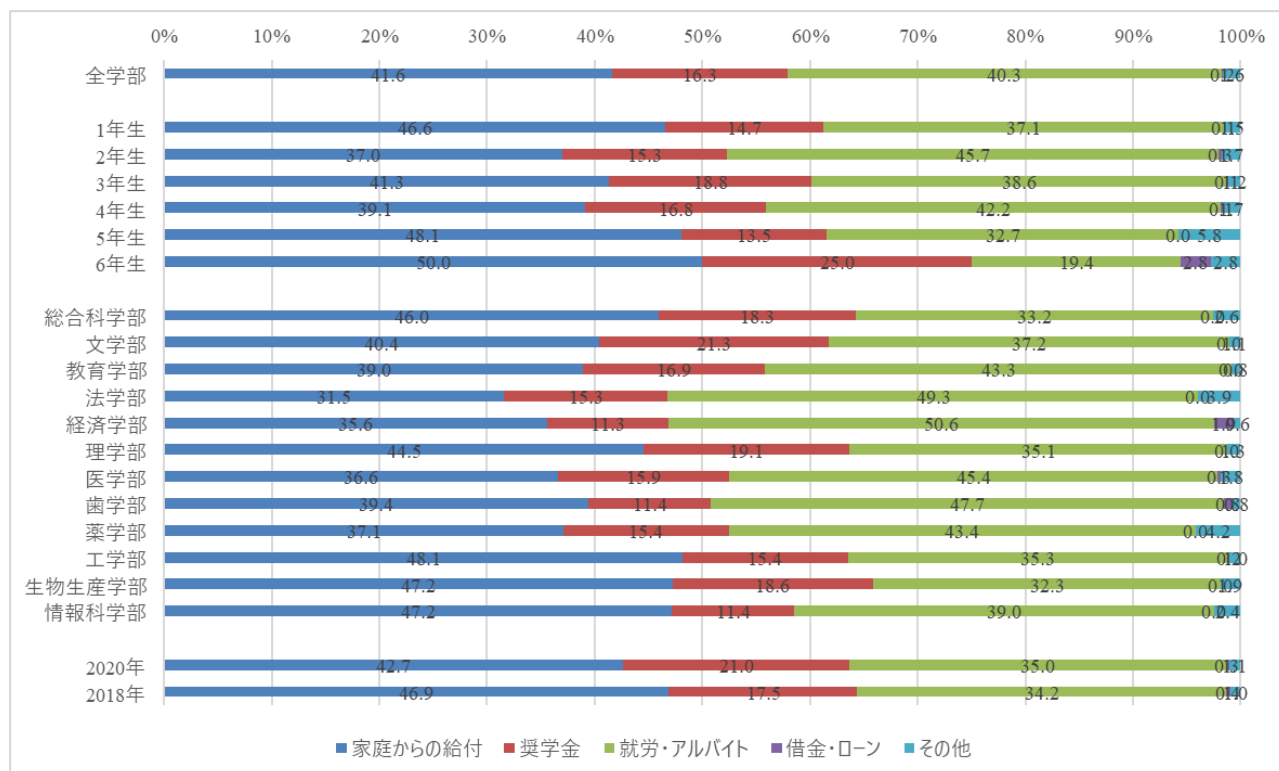
設問8 1か月の総収入(仕送りやアルバイト等、すべての収入を含める)はいくらですか。

1ヶ月の総収入としては、「5 万円～10 万円未満」が 42.1%と最も多く、次いで「2 万円～5 万円未満」が 25.7%という結果になった。コロナ発生以前に比べると「5 万円～10 万円未満」の割合が増え(2018 年度は 37.5%, 2017 年度は 39.3%), 「2 万円～5 万円未満」(2018 年度は 33.5%, 2017 年度は 30.9%) および「2 万円未満」(2018 年度は 12.4%, 12.6%) の割合が減っている。



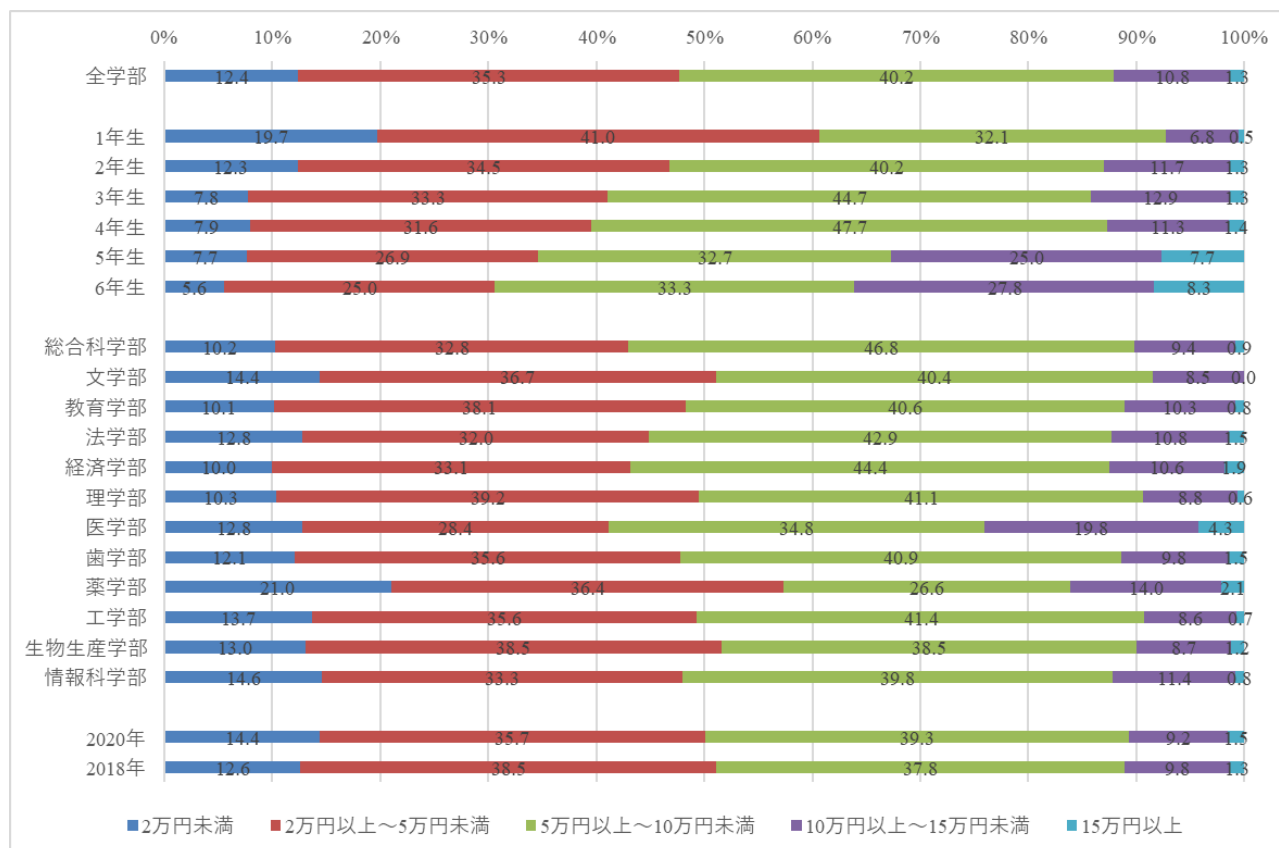
設問9 1か月の収入のうち1番多い収入は、次のどれですか。

多くの学部生は家庭からの給付（41.6%）と就労・アルバイト（40.3%）により収入が支えられていることがわかる。法学部と経済学部の学生においては、就労・アルバイト収入が全体の50%に迫っており、医学部、歯学部、薬学部に近い傾向を示している点には留意する必要がある。



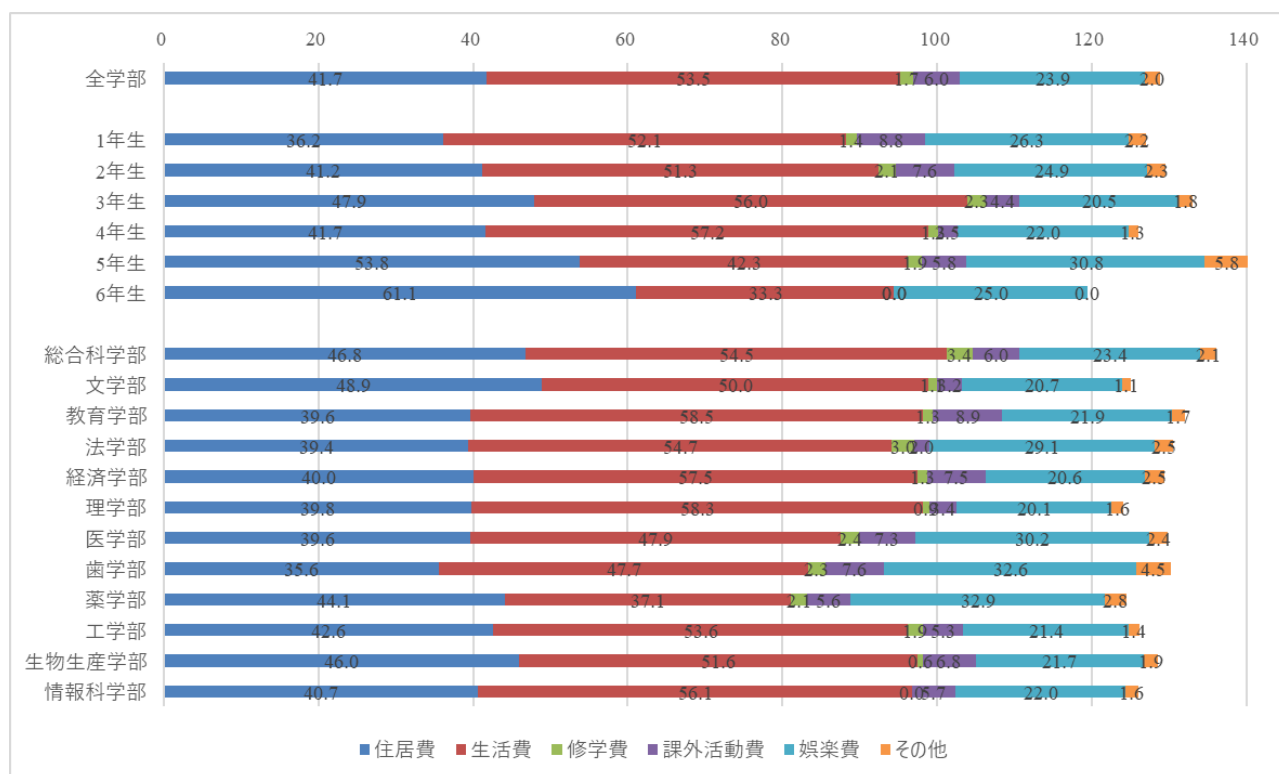
設問10 1か月の支出はいくらですか。

学部間格差はあるが、大半の学部生の支出が2～10万未満（75.5%）であることがわかる。



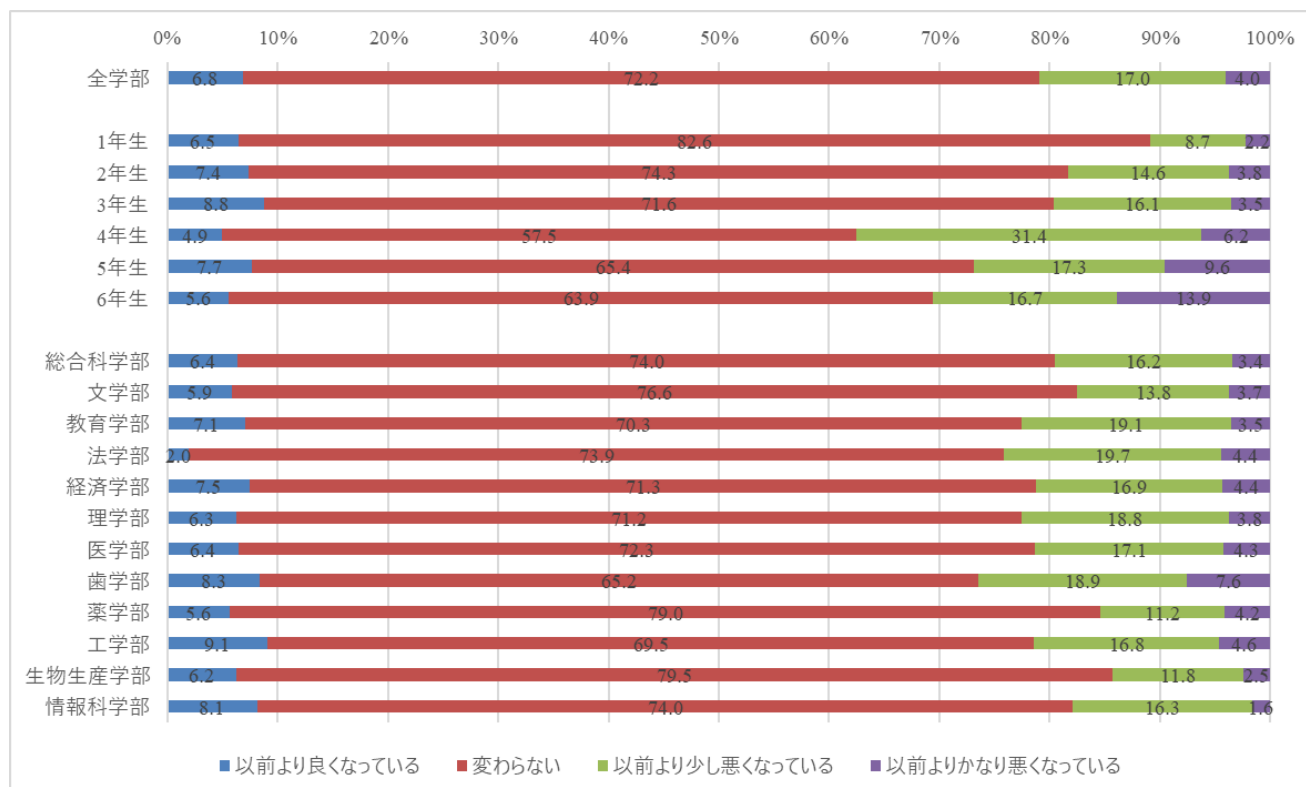
設問 11 1か月の支出のうち、多く必要とする経費は何ですか?ただし、授業料は含みません。(複数回答可)

学部間での差は見られるものの、支出の経費はおおよそ①生活費(50%前後)、②住居費(40%前後)、③娯楽費(20%前後)の順で占められていることがわかる。



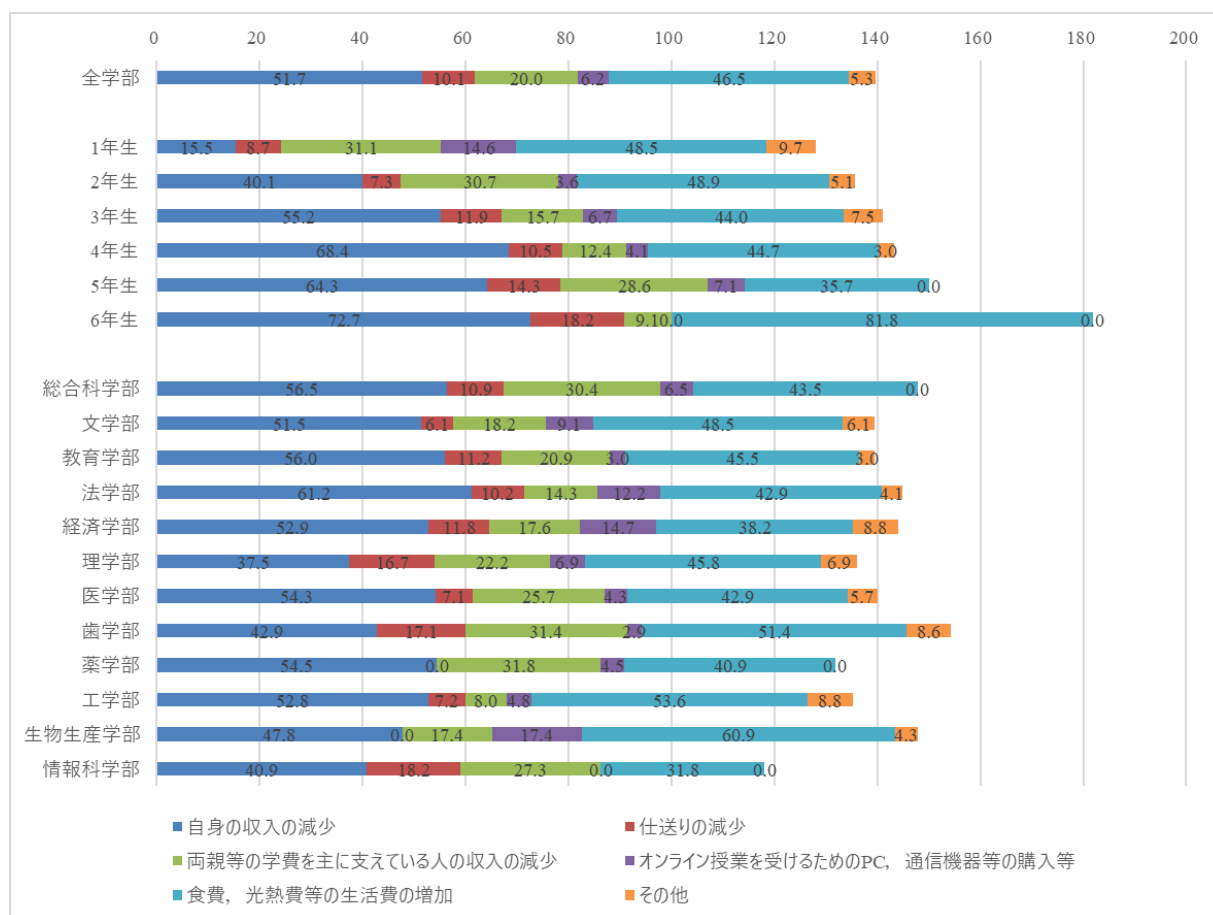
設問 12 コロナ発生前後の経済状況の変化を教えてください。

70%前後の学部生は、コロナ発生前後の経済状況は「変わらない」としているが、4年生の30%が以前より少し悪くなっていると感じている点には、要因分析を通じて留意する必要がある。



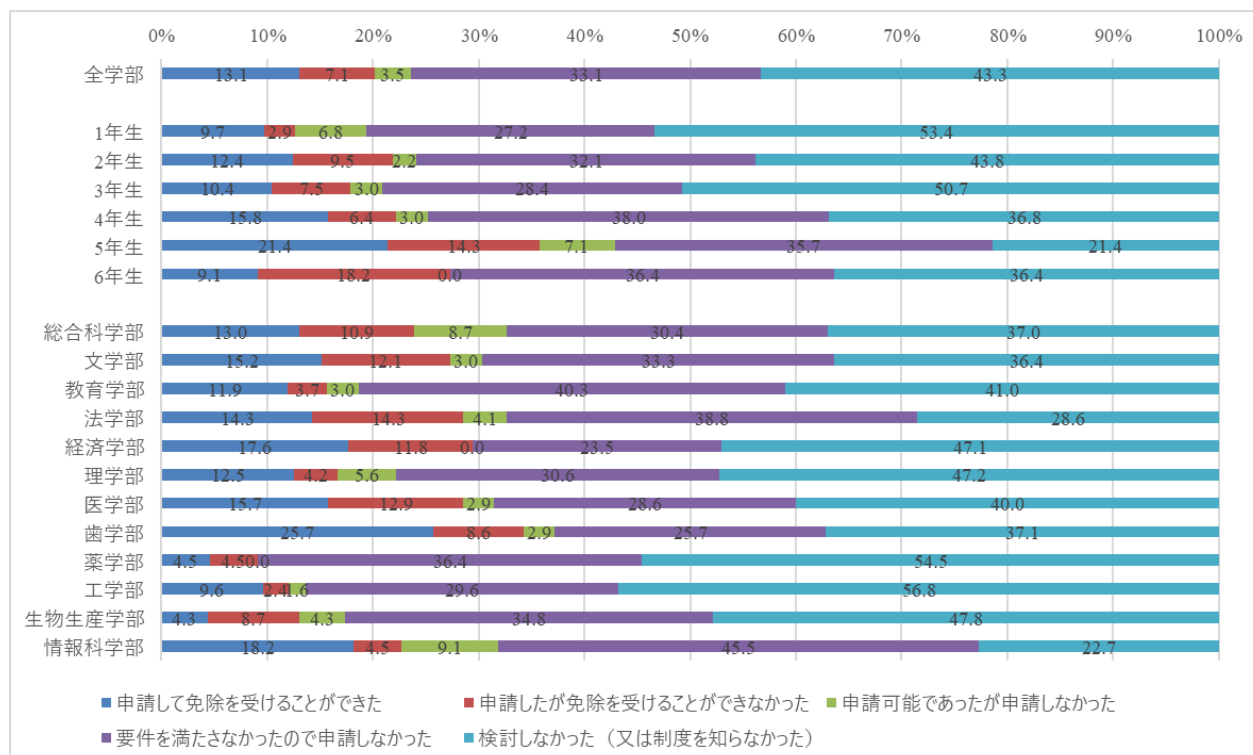
設問 13 コロナ発生以降で経済状況が悪化している原因は何ですか。(複数回答可)

収入の減少、食費・光熱費等の生活費の増加を、「悪化」としている学部生が多い(40～50%前後) ことがわかる。



設問 14 新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況の悪化を理由に授業料免除や奨学金の申請を行いましたか。

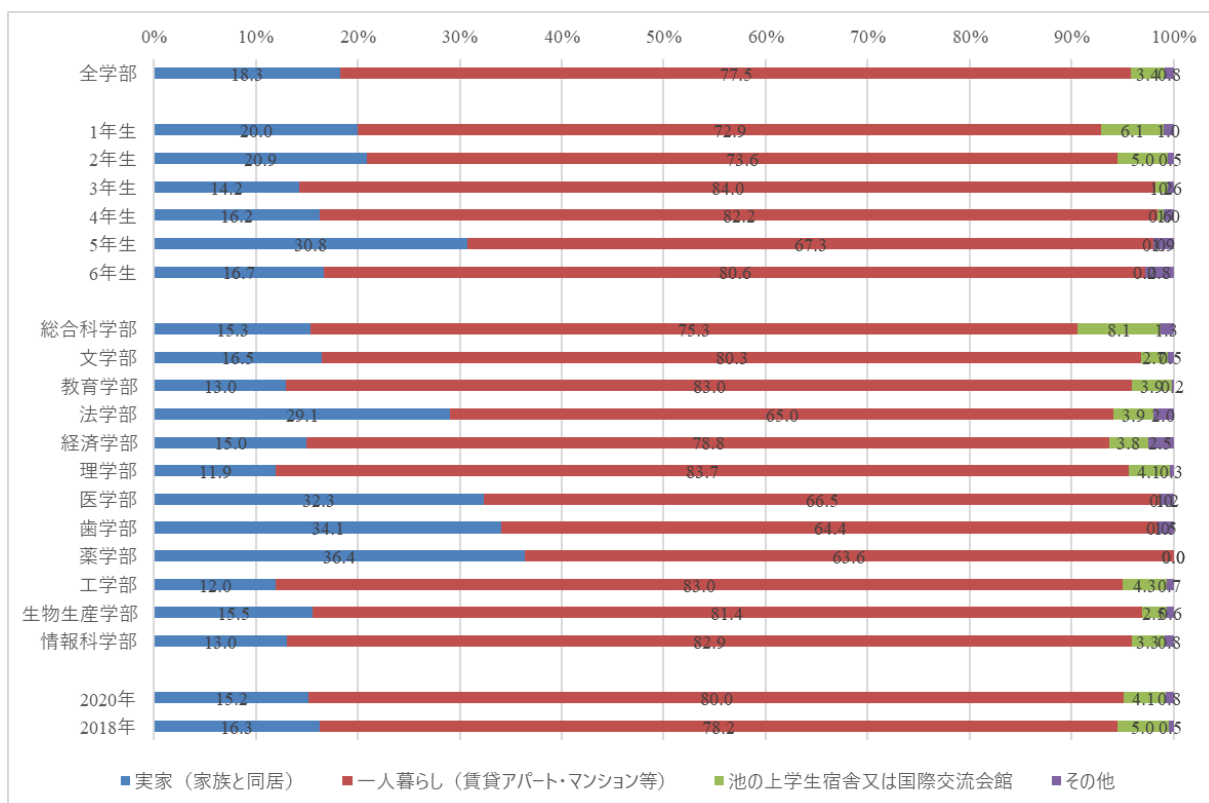
免除を受けることができた学部生は10%前後であることがわかる。学年間、学部間での差が大きく感じられるので、その要因について検討する必要がある。



4 住居・通学の状況

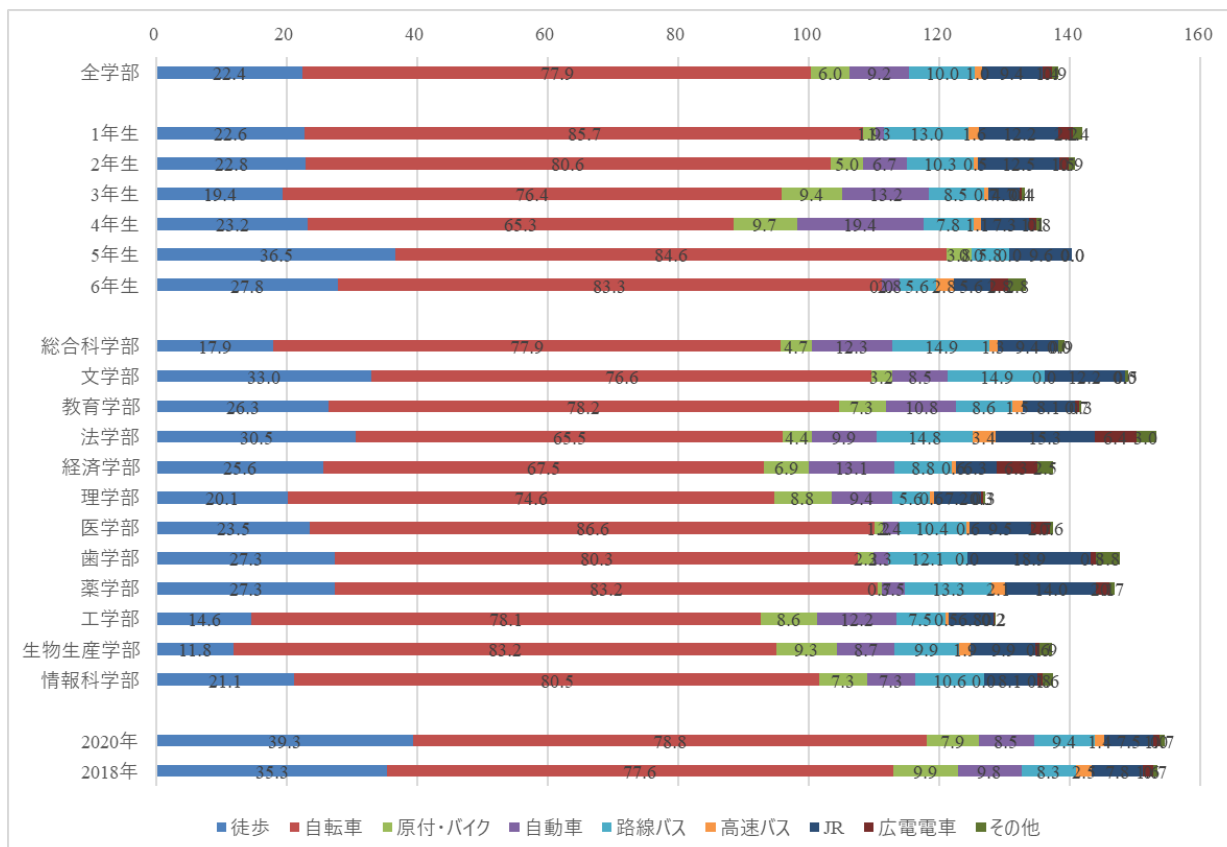
設問 15 居住形態を教えてください。

70～80%の学部生が一人暮らしであることがわかる。医学部、歯学部、薬学部「実家」の回答が多いのは、キャンパスが霞にあることにも起因していると考えられる。



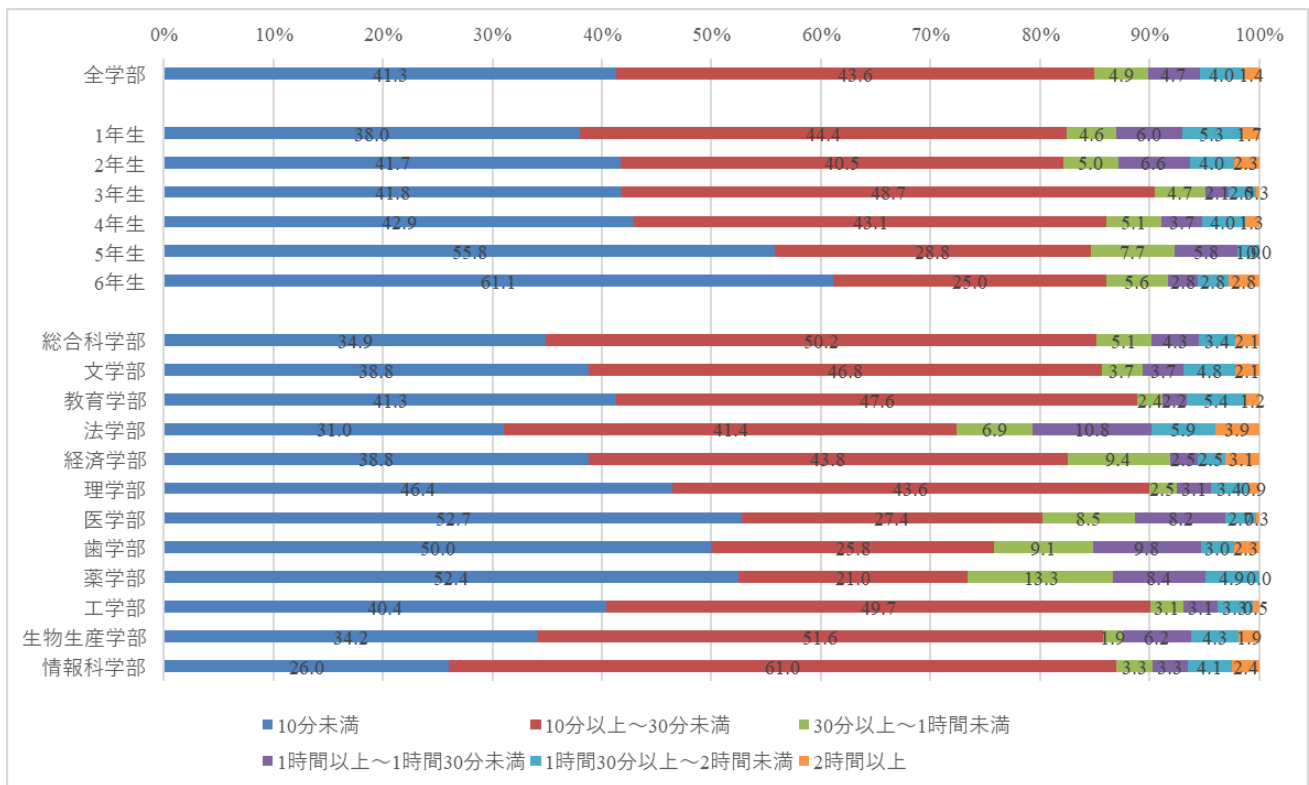
説問 16 主な通学方法を教えてください。（複数回答可）

70～80%の学部生が自転車利用による通学をしていることがわかる。



設問 17 通学にかかる時間を教えてください。

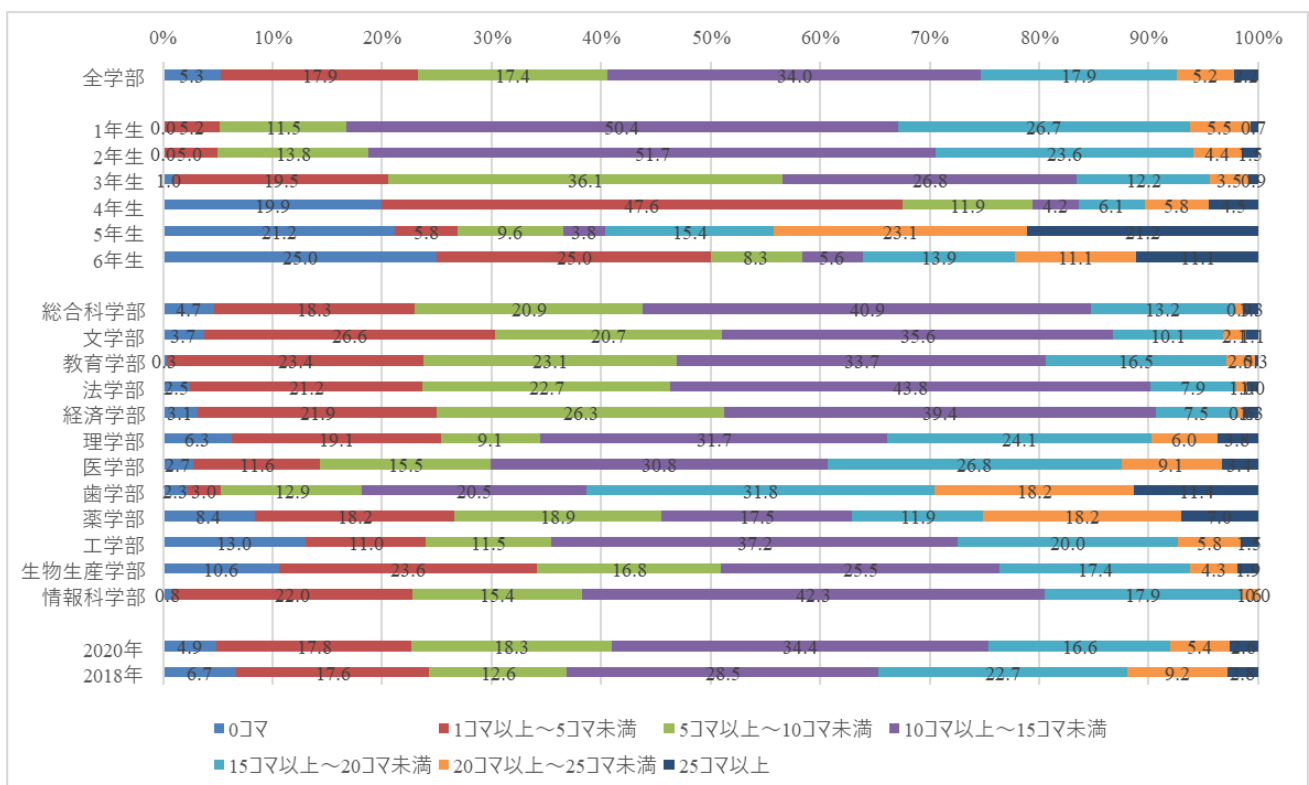
若干の学部間格差はあるが、80%前後の学部生の通学時間はおおよそ 30 分未満であることがわかる。



5 修学の状況

設問 18 授業期間中、平均して1週間でどれくらいの時間を授業（講義・演習・実験・実習若しくは実技）の出席にあてていますか。

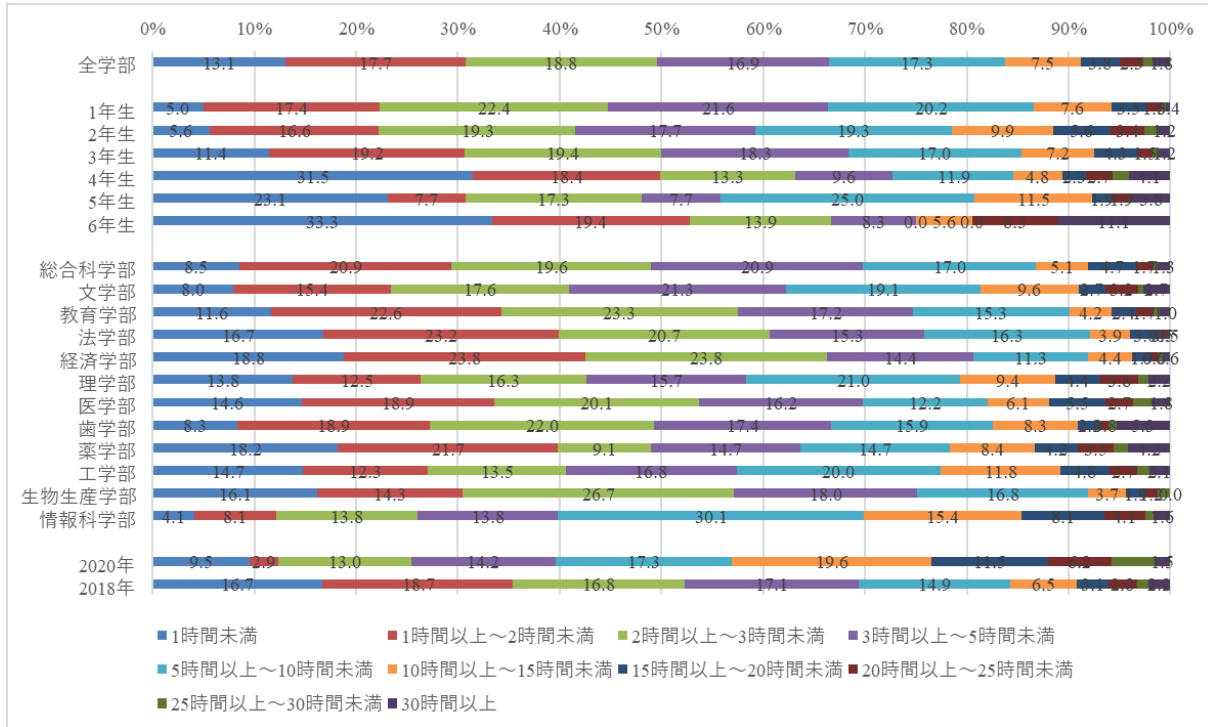
歯学部の学生の授業負担が大きい点に留意する必要があるが、多くの学部で学生の授業負担がおおよそ 5～15 コマ程度であることがわかる。



設問 19 授業期間中、平均して1週間でどれくらいの時間を授業（講義・演習・実験・実習若しくは実技）の課題、準備・復習などにあてていますか。

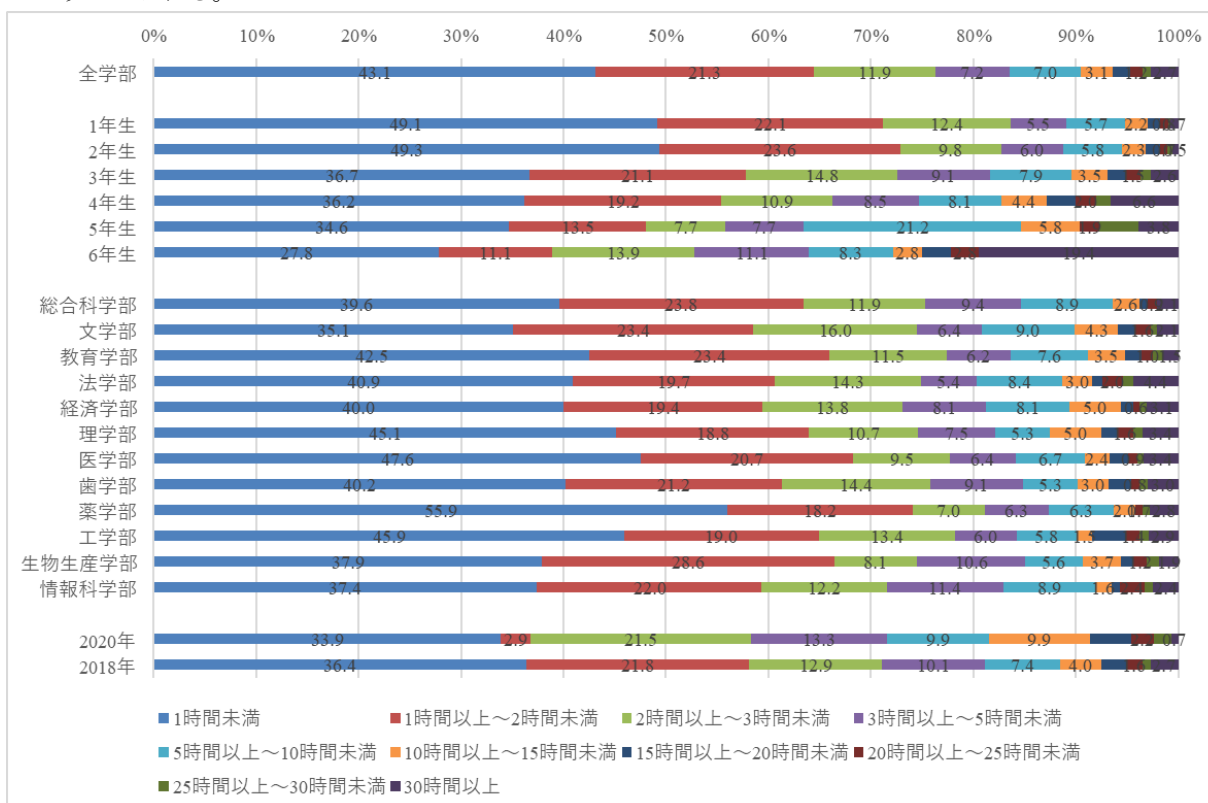
多くの学部において、70%前後の学生は、2時間以上の時間が授業に関連した課題や準備、復習に充てていることがわかる。令和2年度の調査結果と比べると、週2時間以上授業外学習を行っている学部生の割合は80%以上から70%以下に減少している。

このような授業外学習時間が、「1時間未満」と答えた学生が2割を超える学部はない。しかしながら、経済学部と薬学部においては、「1時間未満」と答えた学生が約18%いる点は留意をしておく必要があり、この数値が、どのような要因に拠るのかを検討する必要がある。



設問 20 授業期間中、平均して1週間でどれくらいの時間を授業とは関係のない自主的な学習にあてていますか。

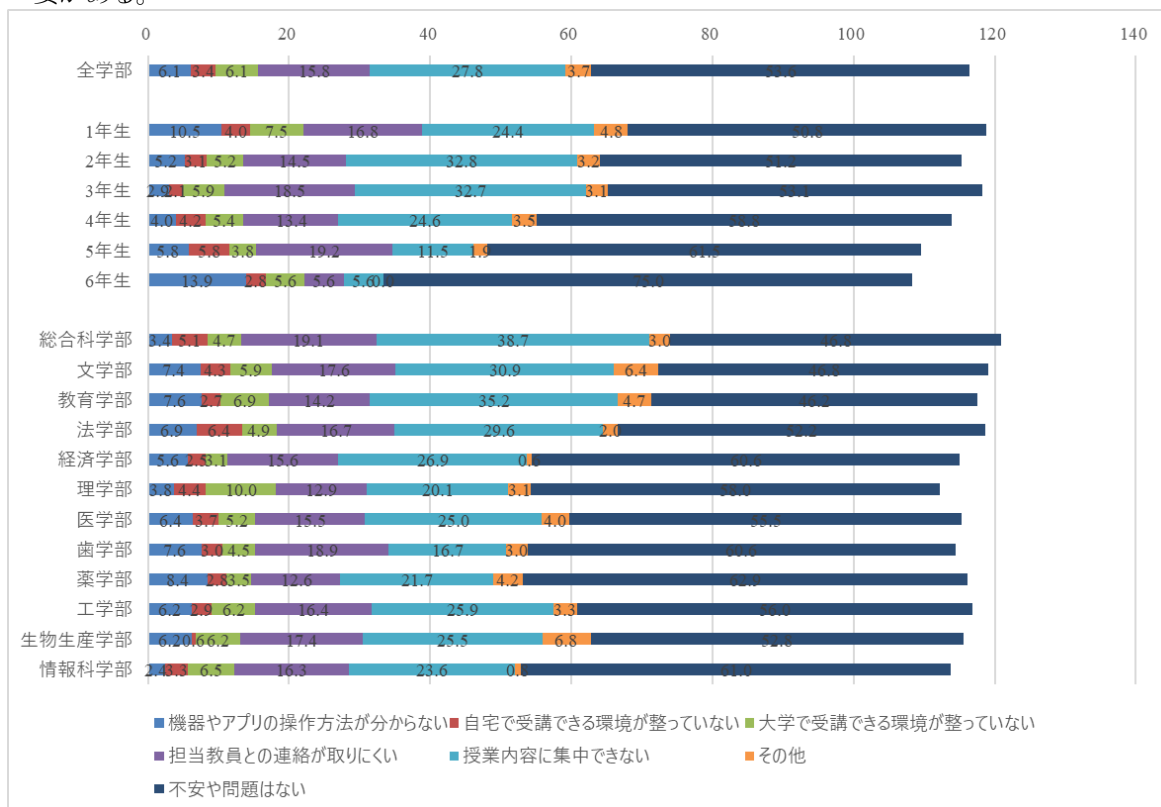
40%未満の学生は、2時間以上の時間が授業とは関係のない自主的な学習に充てている。この割合は令和2年度の60%以上と比べると、大幅に減少した。また、薬学部を除くすべての学部において、50%以上の学生は、こうした自主的な学習に1時間以上の時間を確保していることがわかる。薬学部の学生が他学部にしてこうした自主的な学習時間の割り当てがやや少ない点は、慎重に考察する必要がある。資格試験との関係から、自主勉強に時間を割く必要が無い、あるいは割くゆとりが無いのかもしれないなど、各専門分野固有の問題の存在がうかがわれる。



設問 21 オンライン授業の受講に対する不安や問題点がありますか。(複数回答可)

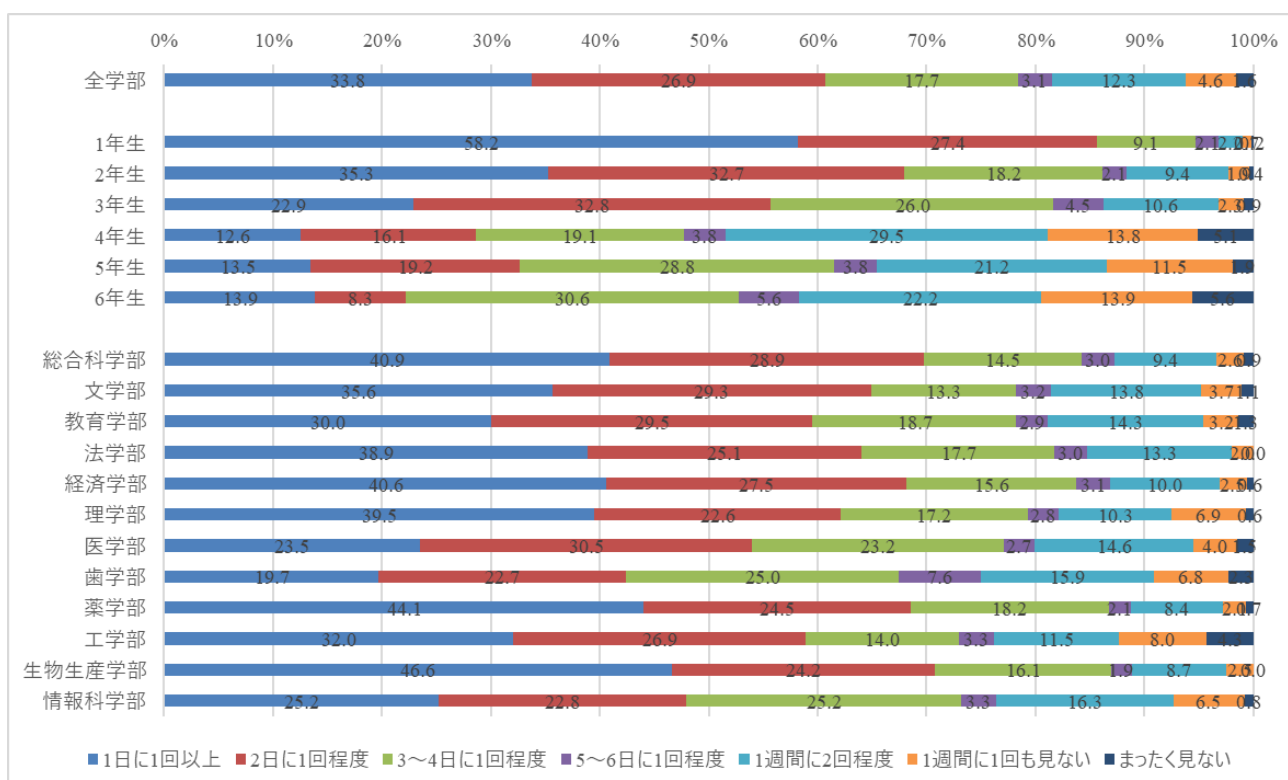
多くの学部において、40%以上の学生が、「授業内容に集中できない」「担当教員との連絡が取りにくい」に不安を感じたことがわかる。「機器やアプリの操作方法がわからない」「自宅で受講できる環境が整っていない」「大学で受講できる環境が整っていない」といった機器の操作や受講環境の整備に問題点があると感じた学部生は20%未満であった。

このようなオンライン授業受講の課題に対して、「不安や問題はない」と答えた学生が70%を超える学部はなかった。総合科学部、文学部、教育学部においては、70%前後の学生はオンライン授業の受講に対する不安や問題点を感じている点は留意をしておく必要があり、この数値が、どのような要因に拠るのかを検討する必要がある。



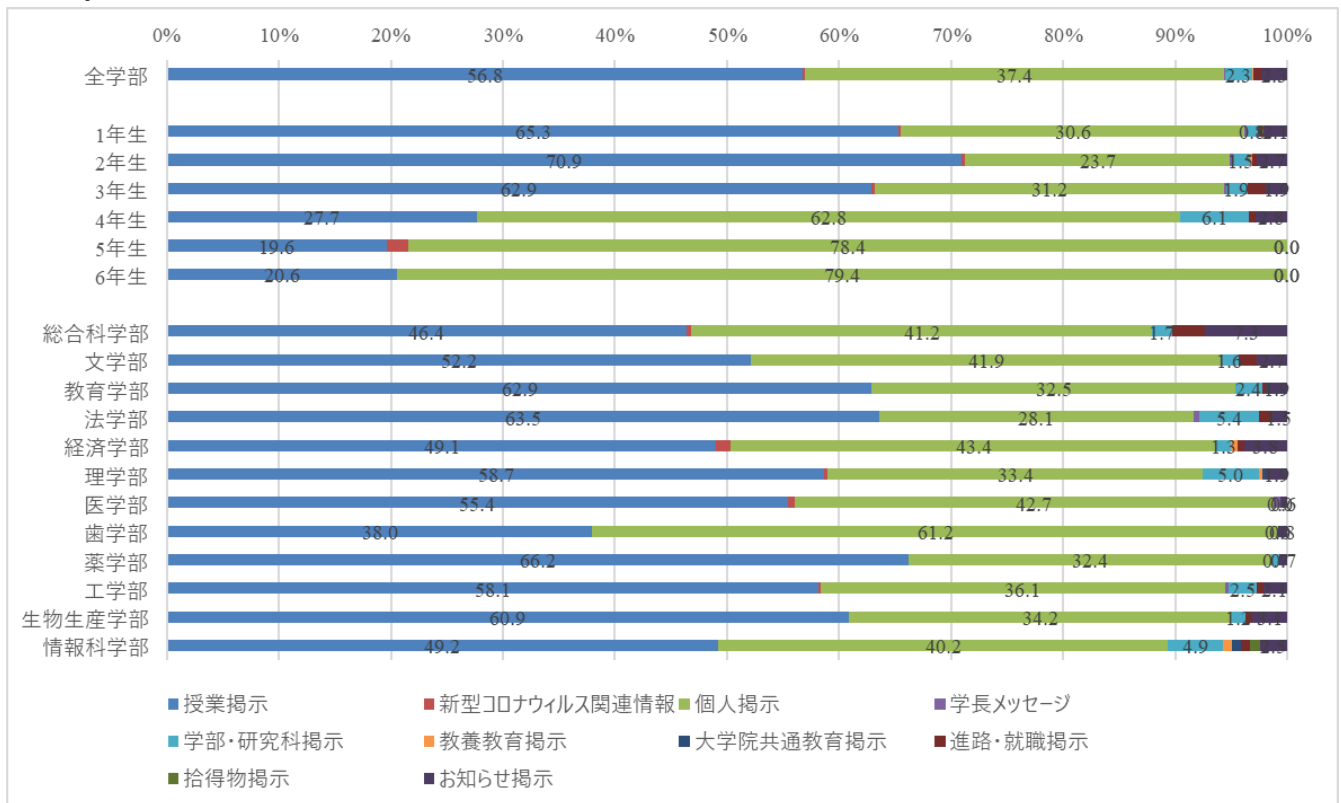
設問 22 My もみじを確認する頻度はどれくらいですか

多くの学部において、60%以上の学生が、少なくとも2日に1回程度でMy もみじを確認していることがわかる。歯学部の学生が他学部 に比して My もみじの確認頻度が比較的に低く、30%以上の学生が、多くても5～6日に1回程度で確認している点は、慎重に考察する必要がある。



設問 23 My もみじで最も多く確認する掲示情報はどれですか。

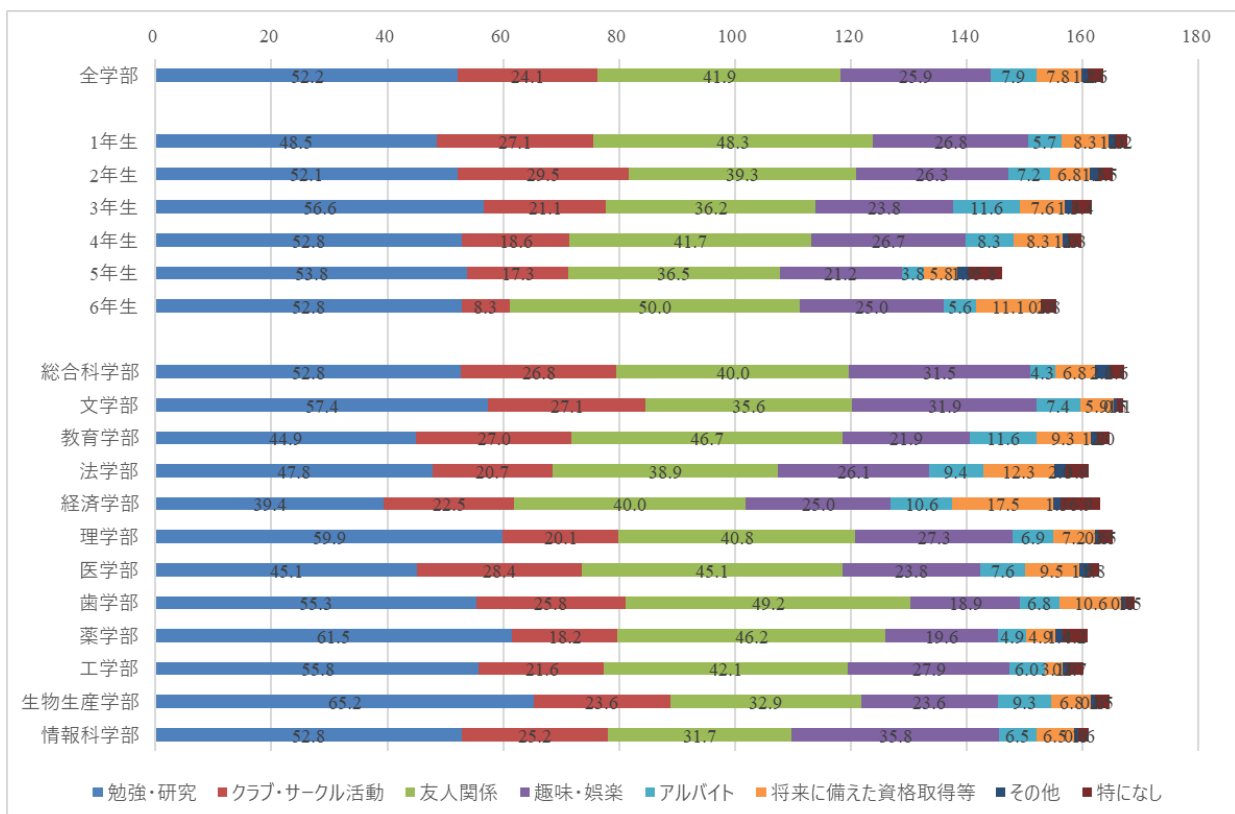
多くの学部において、90%以上の学生が、授業掲示と個人掲示を最も多く確認していることがわかる。「進路・就職掲示」を最も多く確認している学生の割合は、どの学部においても高くない点は、留意する必要がある。



6 学生生活の状況

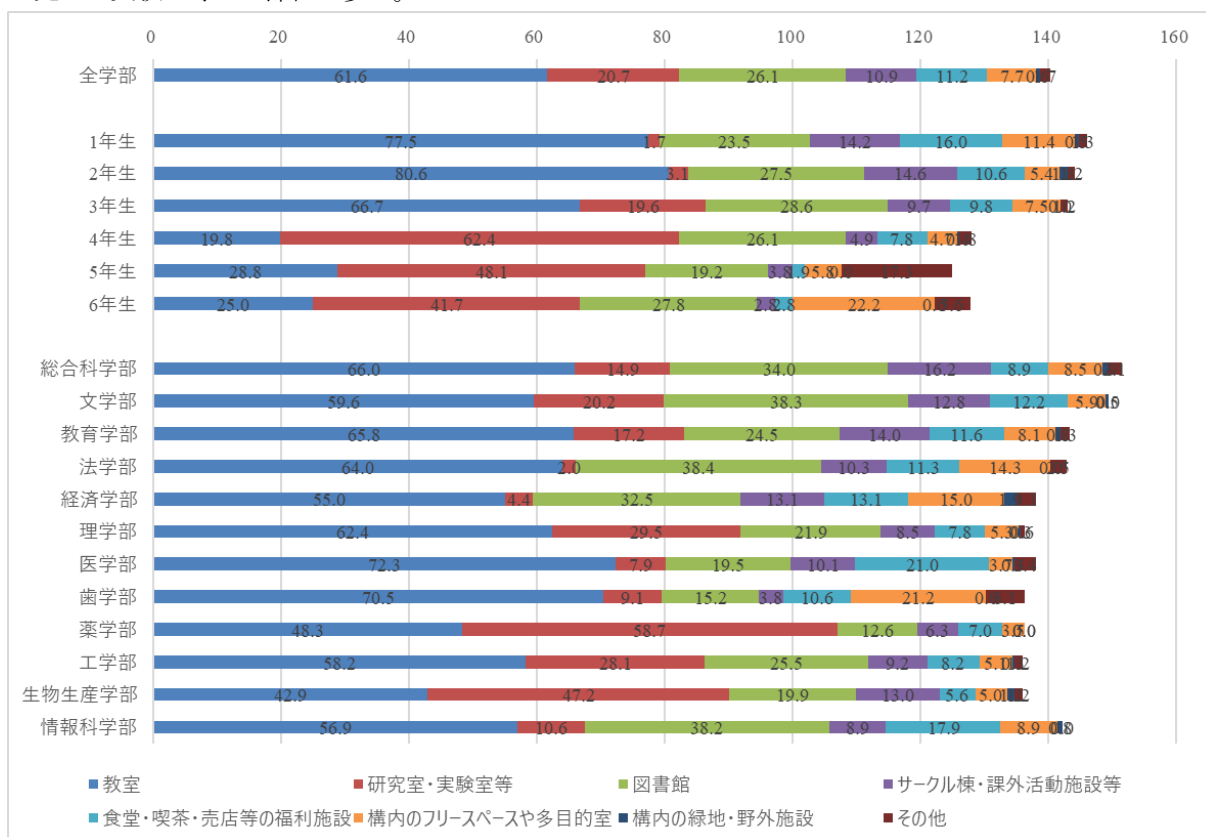
設問 24 大学生生活において特に大切にしているものは何ですか。(複数回答可)

全体として、「勉強・研究」を大切にすると答えた学部生が最も多い(52.2%)。次に多かったのは、「友人関係」(41.9%)である。コロナ禍でオンライン授業が長く続く中、勉強だけでなく、友人の関係作りにも比重を置いた生活となっていることが推察される。



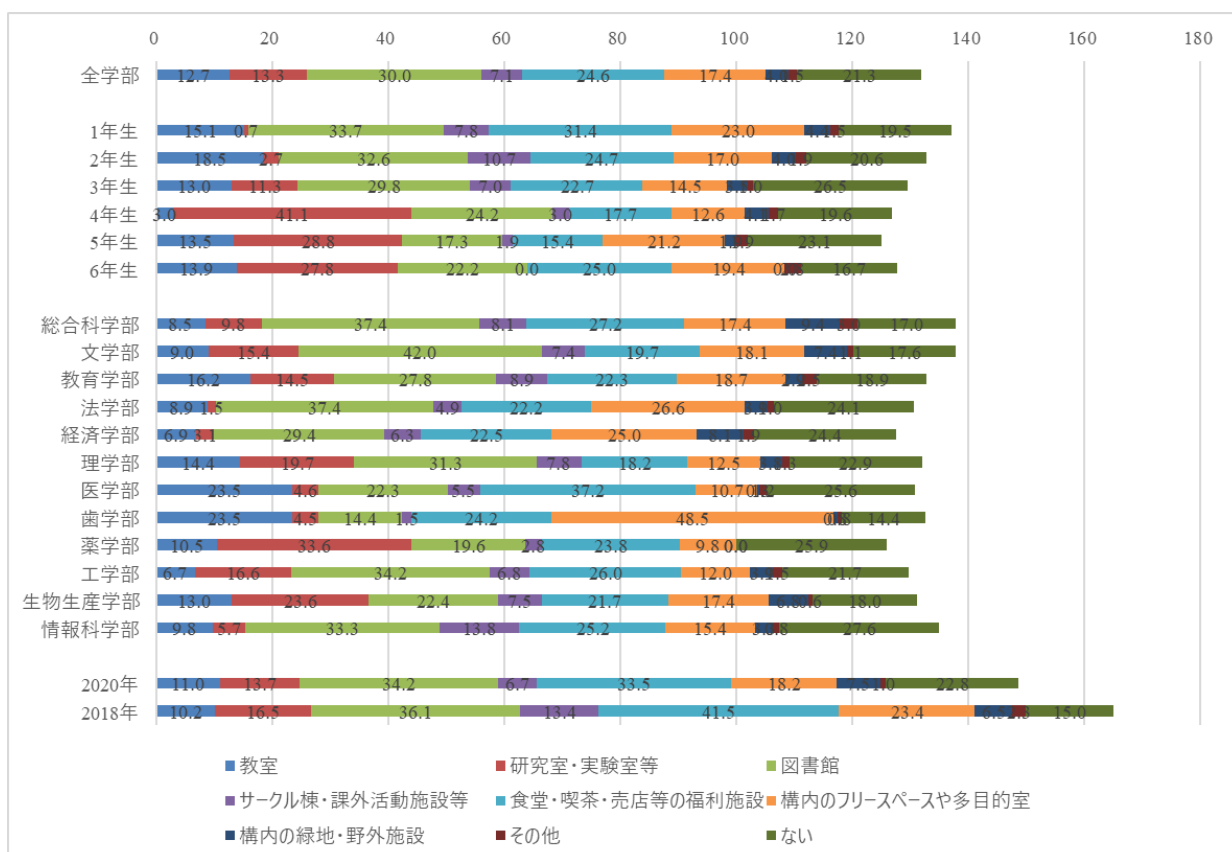
設問 25 大学構内の滞在時間のうち、多く滞在している場所はどこですか。(複数回答可)

滞在時間が長い場所は、全学部では教室が最も多く 61.6%であり、教室での対面授業が増えたことの影響とみられる。また、図書館は 26%程度で、研究室・実験室等は 20%程度である。学部別に見ると、法学部、文学部、情報科学部、総合科学部、経済学部では、図書館での滞在が多く、薬学部、工学部、生物生産学部では研究室・実験室等での滞在が多い。



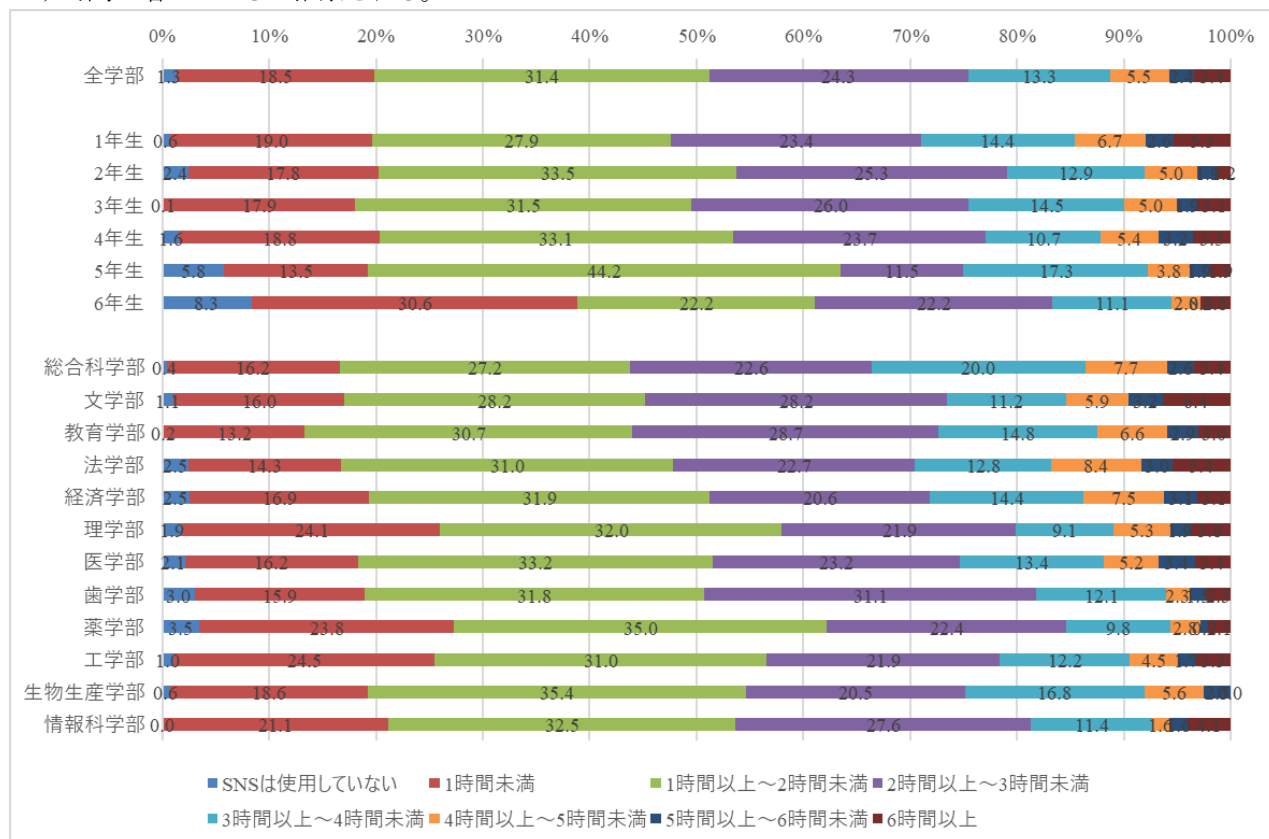
設問 26 大学構内にくつろいで過ごせる場所がありますか。(複数回答可)

大学内でくつろいで過ごせる場所は、図書館が 30%で最も多かったが、令和 2 年度調査の 34.2%より少ない。学部別に見ると、文学部、総合科学部、法学部、工学部、情報科学部では、図書館という回答が最も多い。また、くつろいで過ごせる場所は「ない」という回答が合計で 21.3%もあり、令和 2 年度調査と同じ傾向である。これから施設利用面での改善にさらに力を入れるべきであると思われる。



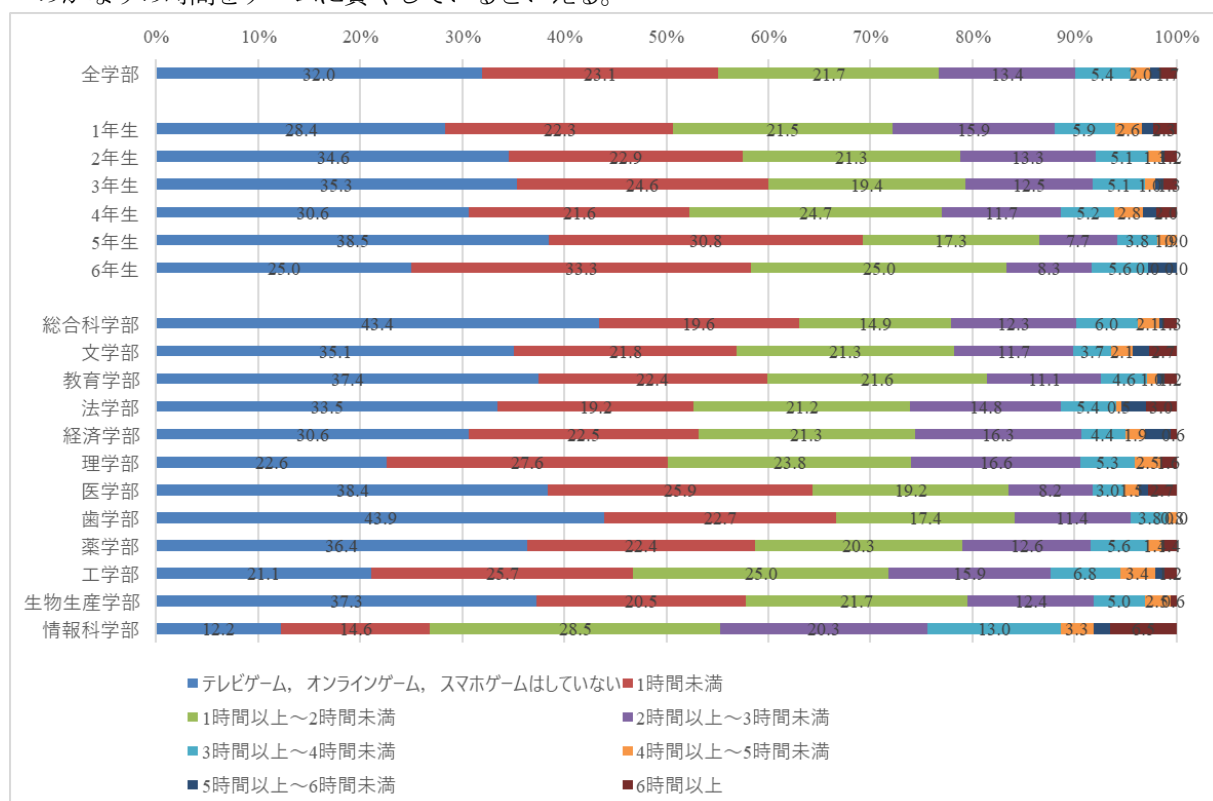
設問 27 Facebook・Instagram・LINE・Twitter 等の SNS (Social Network Service) を 1 日でどれくらいの時間使用していますか。

全体として、SNS を「使用していない」学部生は 1.3%，1 時間未満は 18.5%であり，1～2 時間は 31.4%，2～3 時間は 24.3%，3 時間以上は 24.5%である。1 時間以上の学生は 80.2%であり，1 日のかなりの時間を SNS に費やしているといえる。コロナ禍でのオンライン授業により，SNS で他人とコンタクトするのに費やす時間が増えていると推察される。



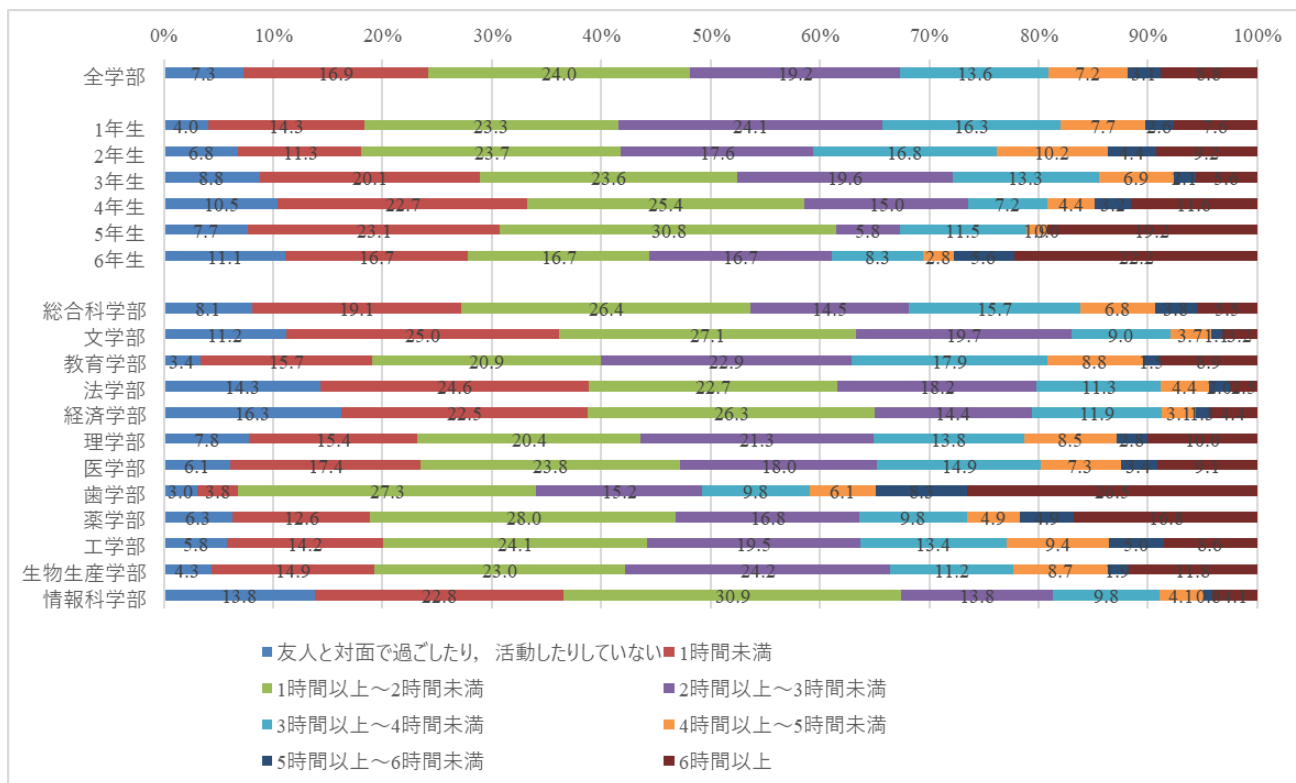
設問 28 平均して 1 日に、テレビゲーム、オンラインゲーム、スマホゲームにどれくらいの時間をあてていますか。

全体として、「テレビゲーム、オンラインゲーム、スマホゲームをしていない」学部生は 32%，1 時間未満は 23.1%であり，1～2 時間は 21.7%，2～3 時間は 13.4%，3 時間以上は 9.8%である。懸念されるのは情報科学部であり，1 日 3 時間以上ゲームをする割合が 24.4%で，他の学部と比べて，2 倍以上高かった点である。1 日のかなりの時間をゲームに費やしているといえる。



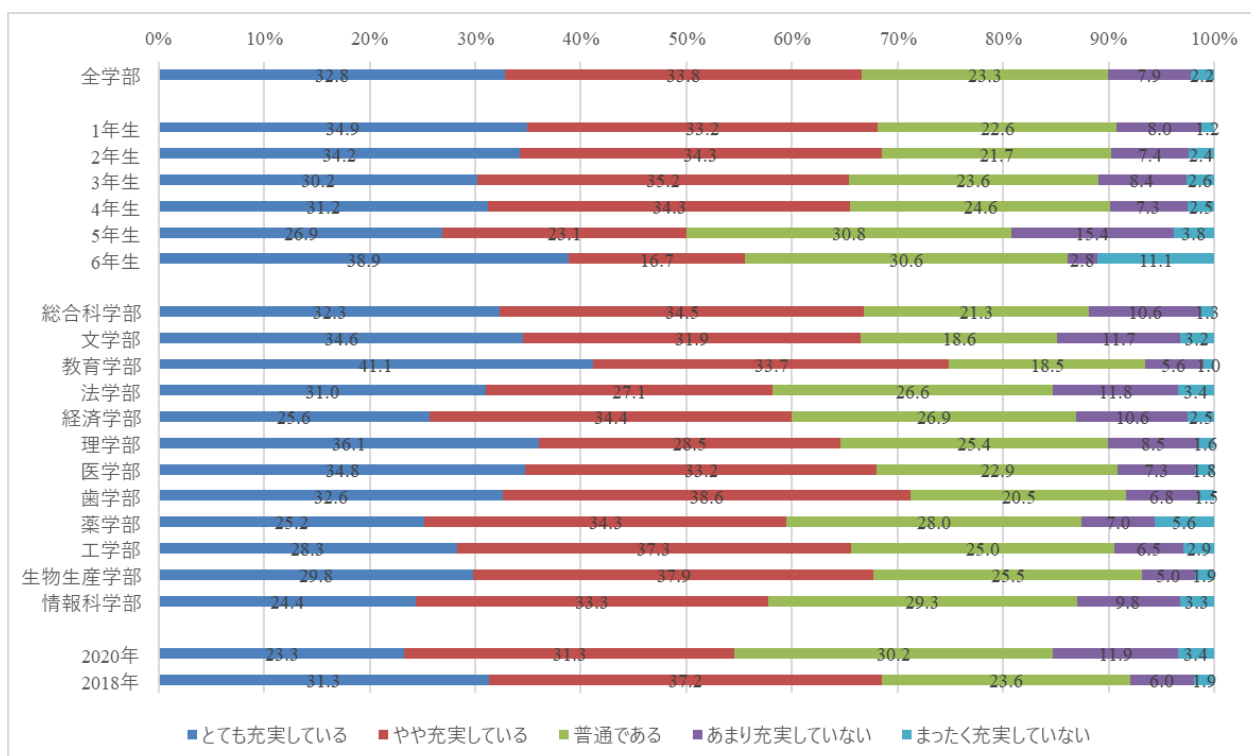
設問 29 平均して1日に、どれくらい友人と対面で過ごしたり、対面で一緒に活動したりしていますか。

全体では、「1時間以上～2時間未満」と回答した学部生が多く、24.0%であった。次に多かったのが、「2時間以上～3時間未満」(19.2%)である。一方、「友人と対面で過ごしたり、活動したりしていない」と回答した学部生は全体で7.3%であるが、学部によってばらつきを認める。



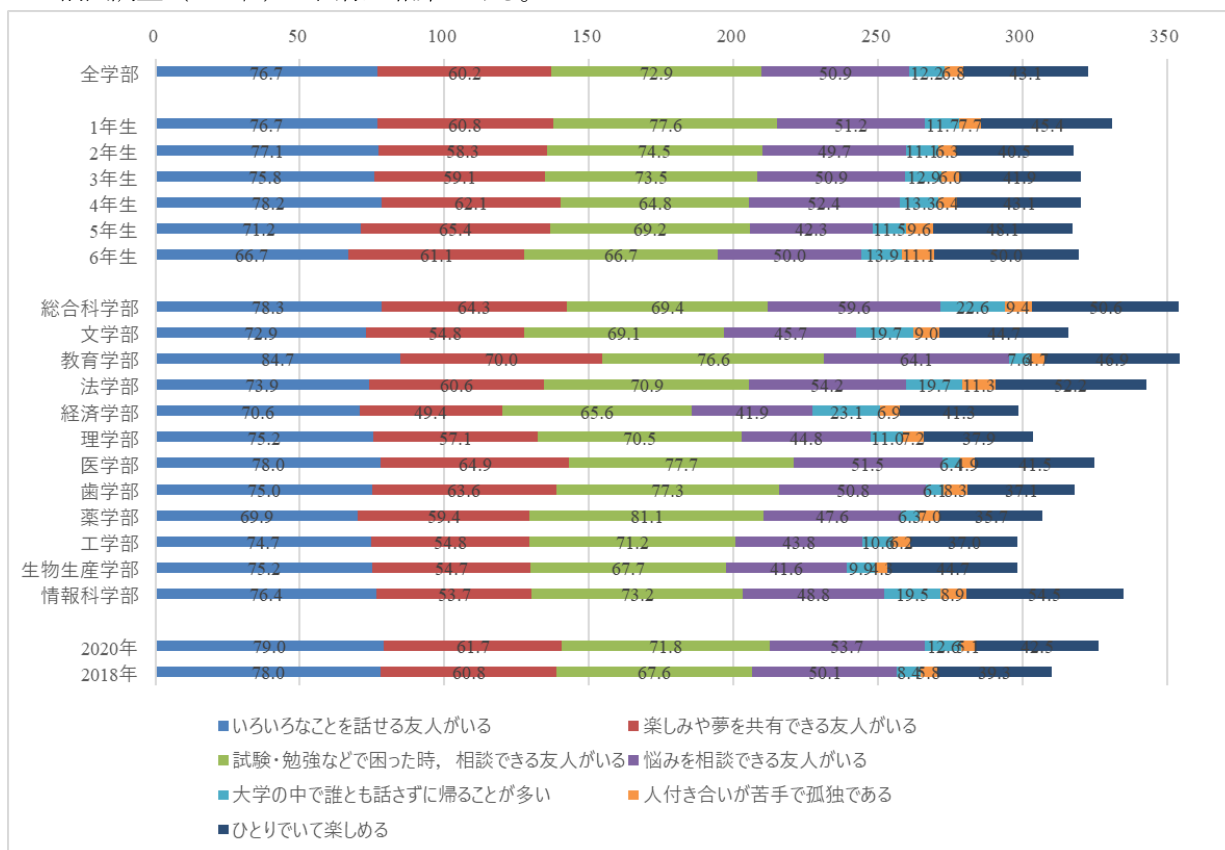
設問 30 授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか。

多くの学部において、約60%の学生が「とても充実している」「やや充実している」と回答した。全体では、「とても充実している」と回答した学部生は32.8%であった。前回調査(23.3%)と比較して高く、授業以外の学生生活をより充実して過ごせている傾向である。



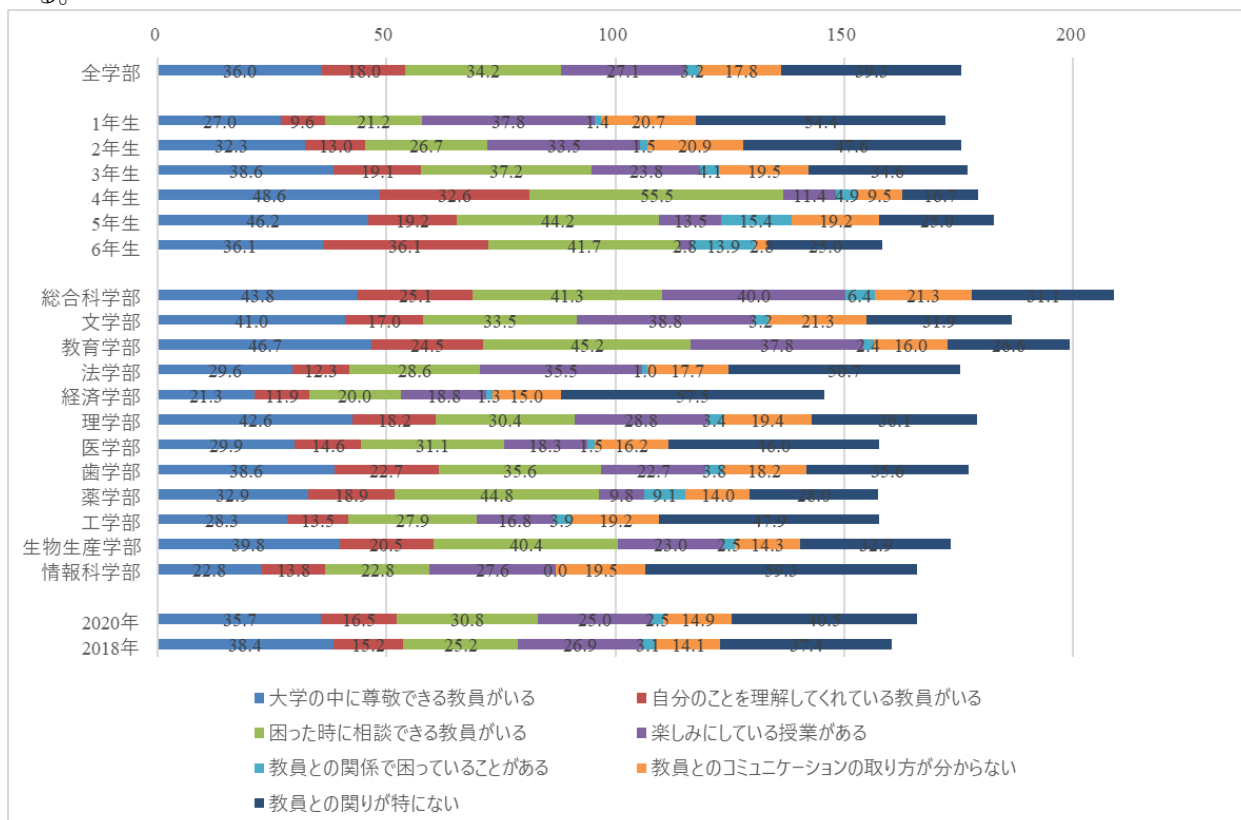
設問 31 友人についてお尋ねします。(複数回答可)

全体では、学部生の約4人に3人は、「いろいろなことを話せる友人がいる」、「試験・勉強などで困った時、相談できる友人がいる」と回答している。一方、「人付き合いが苦手で孤独である」と回答する学部生の割合は6.8%でこれまでの調査と同様である。「大学の中で誰とも話さずに帰ることが多い」は12.2%で、増加を認めた前回調査(12.6%)と同様の結果である。



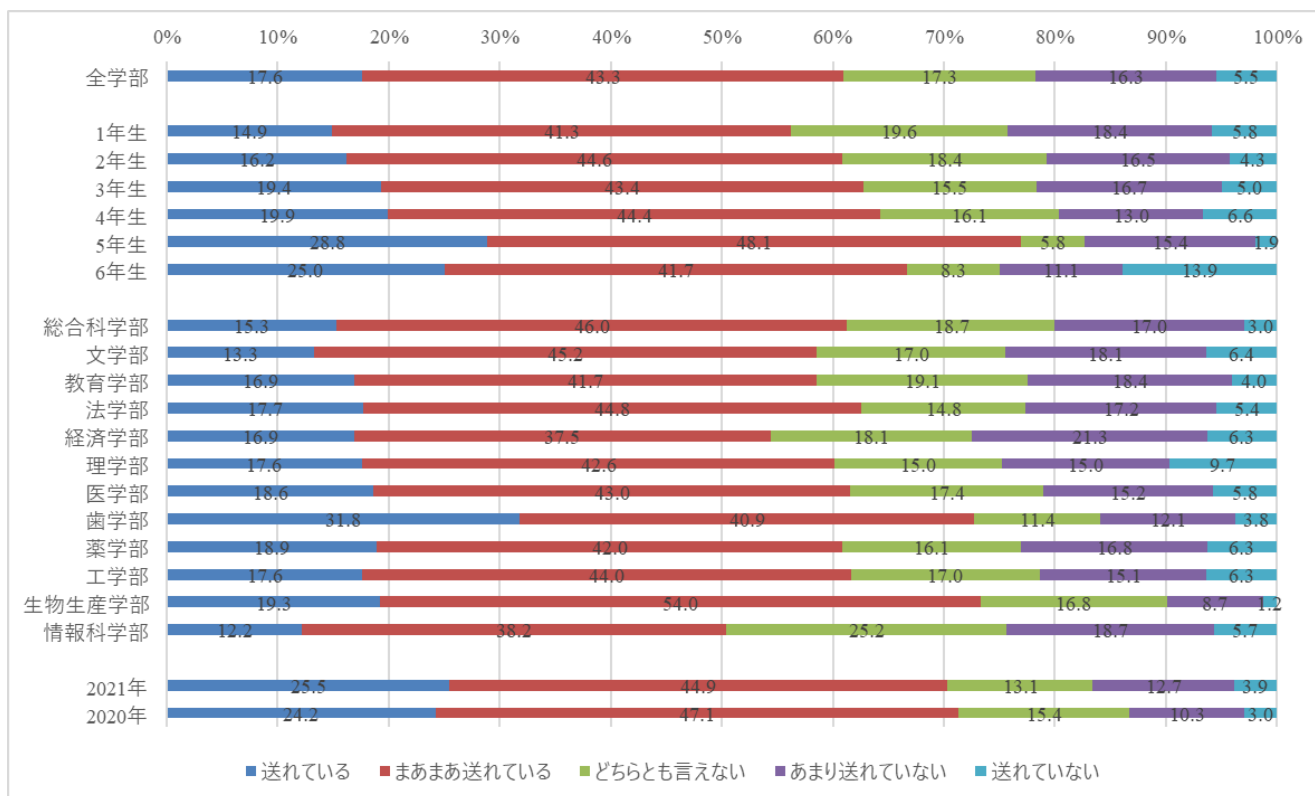
設問 32 教員についてお尋ねします。(複数回答可)

「大学の中で尊敬できる教員がいる」と回答した学部生は全体で36%であり、1年生から4年生までは学年が上がるに連れて増加傾向であった。前回と比較して、「教員とのコミュニケーションの取り方が分からない」と回答する学部生は17.8%と、やや高くなっていった。特に1年生は「教員との関りが特にない」と回答する学部生の割合が高く、コロナの流行により、教員との交流機会が減少していることが一つの要因として考えられる。



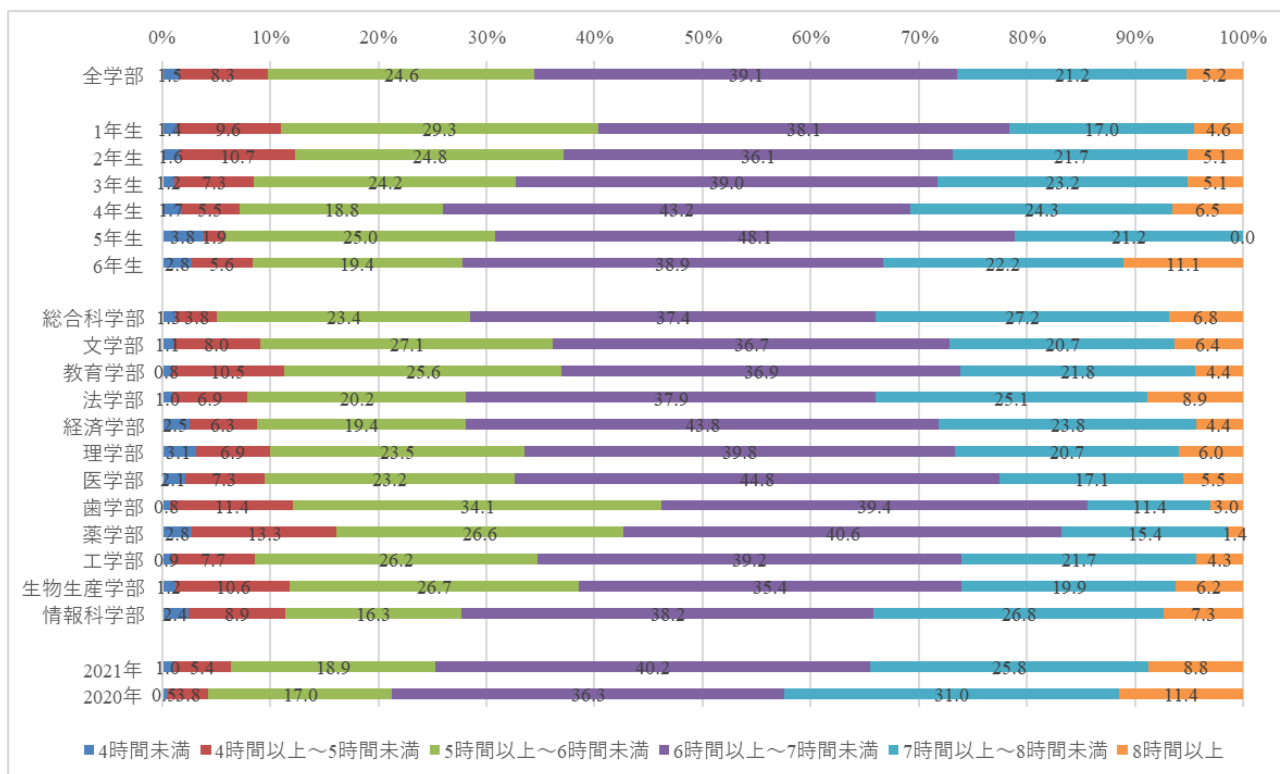
設問 33 現在、規則正しい生活が送れていますか。

全体では、「まあまあ送れている」と回答した学部生が 43.3%と多く、全学年で同様の結果であった。一方、「送れていない」と回答した学部生は、6 年生では 13.9%と高くなっている。前回調査との比較においては、「送れている」と回答した学部生の割合が低く、「送れていない (5.5%)」「あまり送れていない (16.3%)」と回答した学部生の割合が高くなっており、注意を要する。



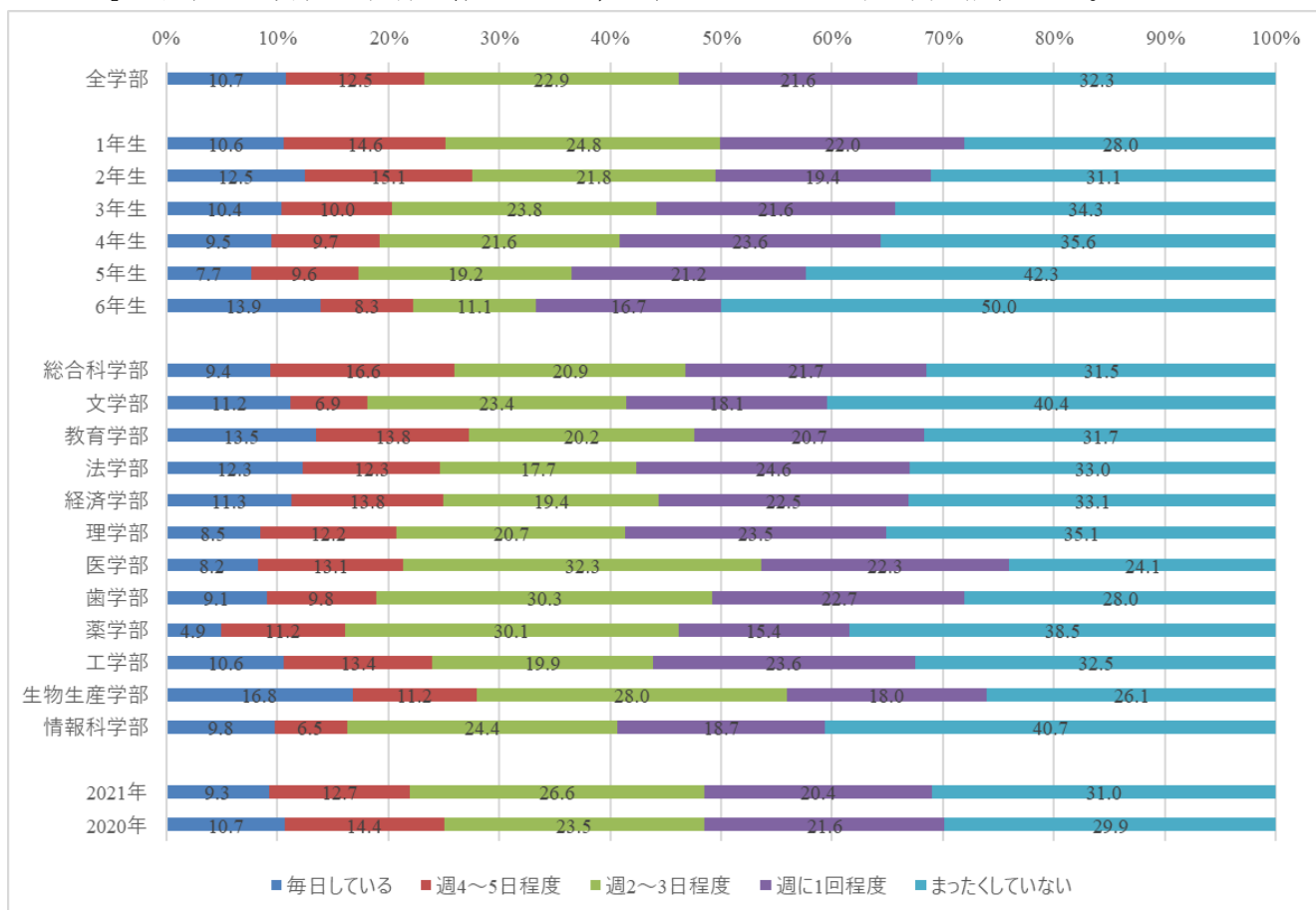
設問 34 現在の平均睡眠時間は何時間くらいですか。

全体として、「6 時間以上～7 時間未満」と回答した学部生が 39.1%と多い。一方、約 10%の学生が、「4 時間未満」、「4 時間以上～5 時間未満」と回答しており、前回調査と比較して、睡眠時間が不足している学部生を多く認める。特に、1 年生や 2 年生でその傾向が高くなっている。



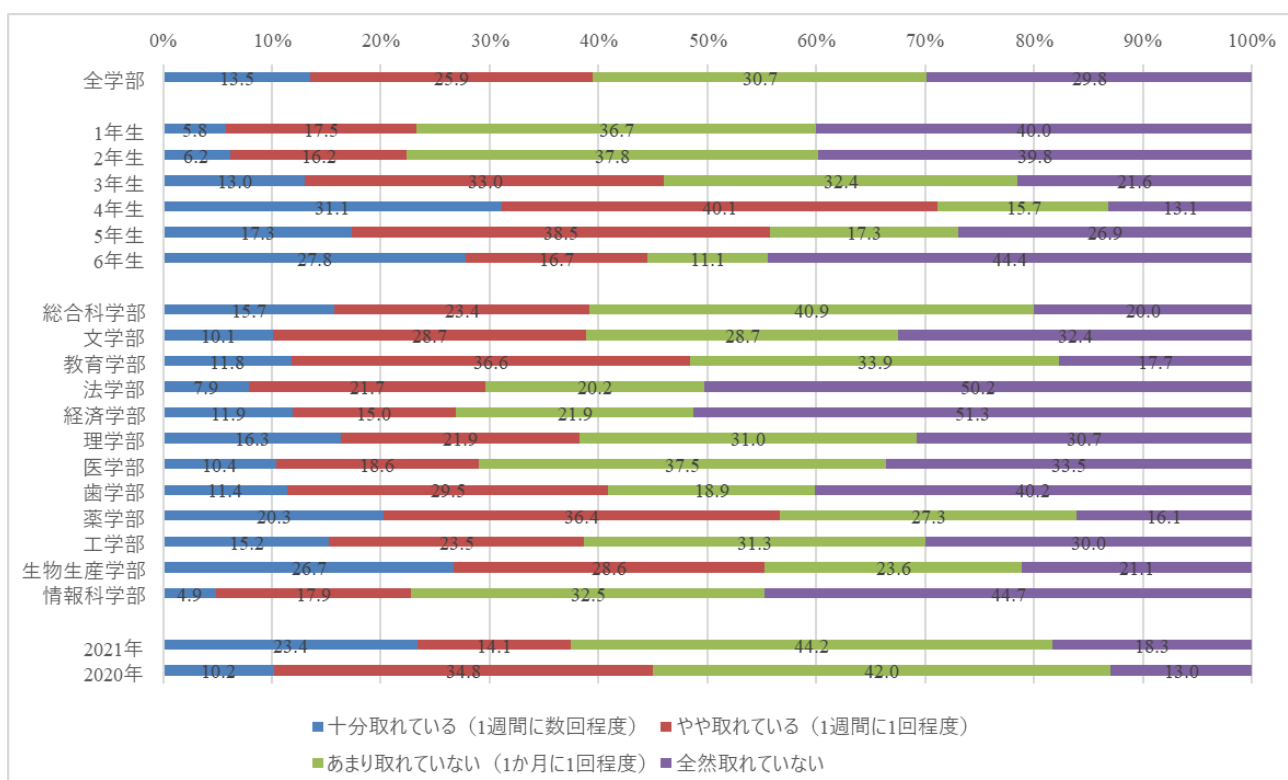
設問 35 現在、定期的に運動（1日30分程度）をしていますか。

全体として、週に1回以上の定期的な運動をしていると回答した学部生は約7割、「まったくしていない」と回答した学部生は約30%であり、前回調査と同様の結果であった。学年が上がるに連れて、「まったくしていない」と回答した学部生の割合が増加しており、6年生においては50%と高い結果である。



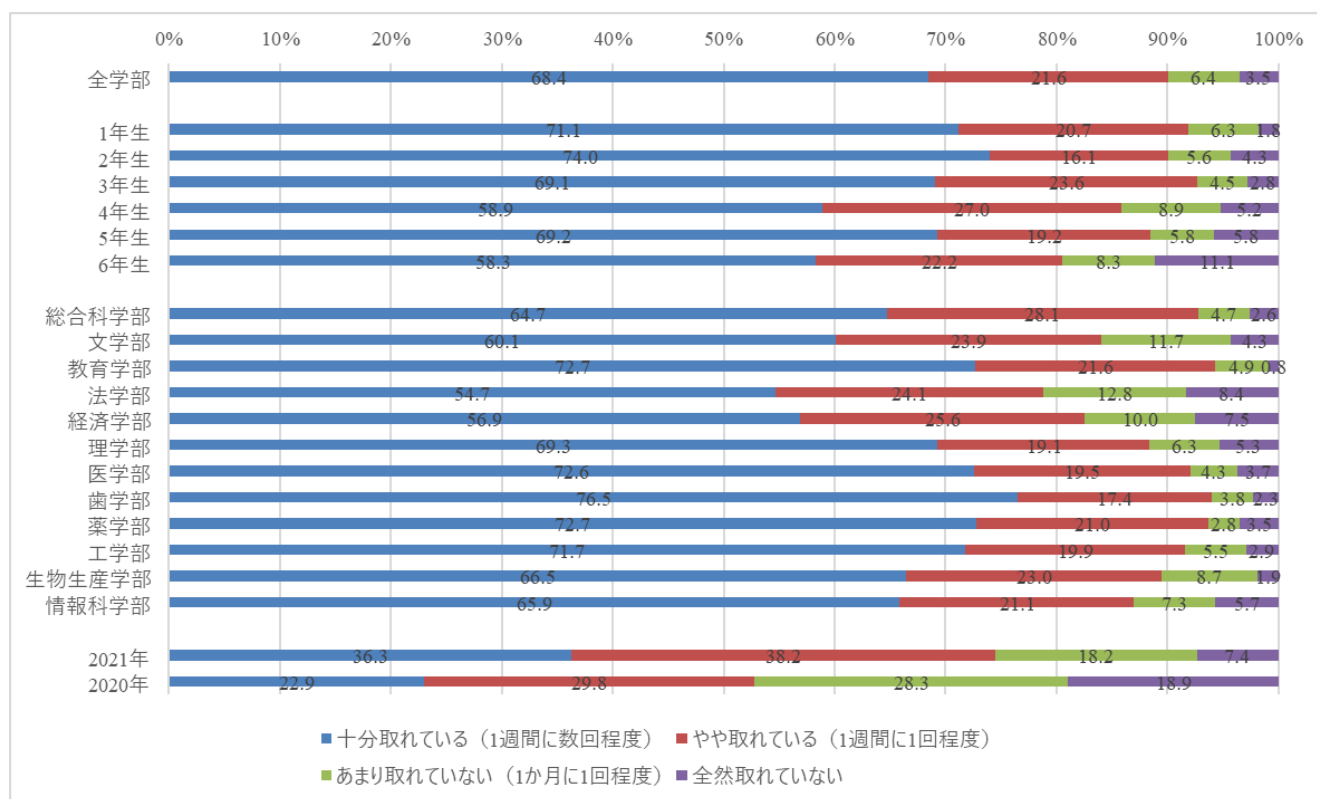
設問 36 今年度、指導教員やチューターとコミュニケーションが取れていたと感じますか。

全体として、「あまり取れていない」が30.7%、「全然取れていない」29.8%であり、60%以上の学部生が指導教員やチューターとコミュニケーションが取れていないと感じている。学年によりばらつきを認めており、1年生や2年生においては、指導教員やチューターと関わる機会が少ないこと（設問32）が影響していると考えられる。一方、卒業を控えた学部生の多い4年生においては、7割以上の学部生が、「十分取れている」「やや取れている」と回答している。



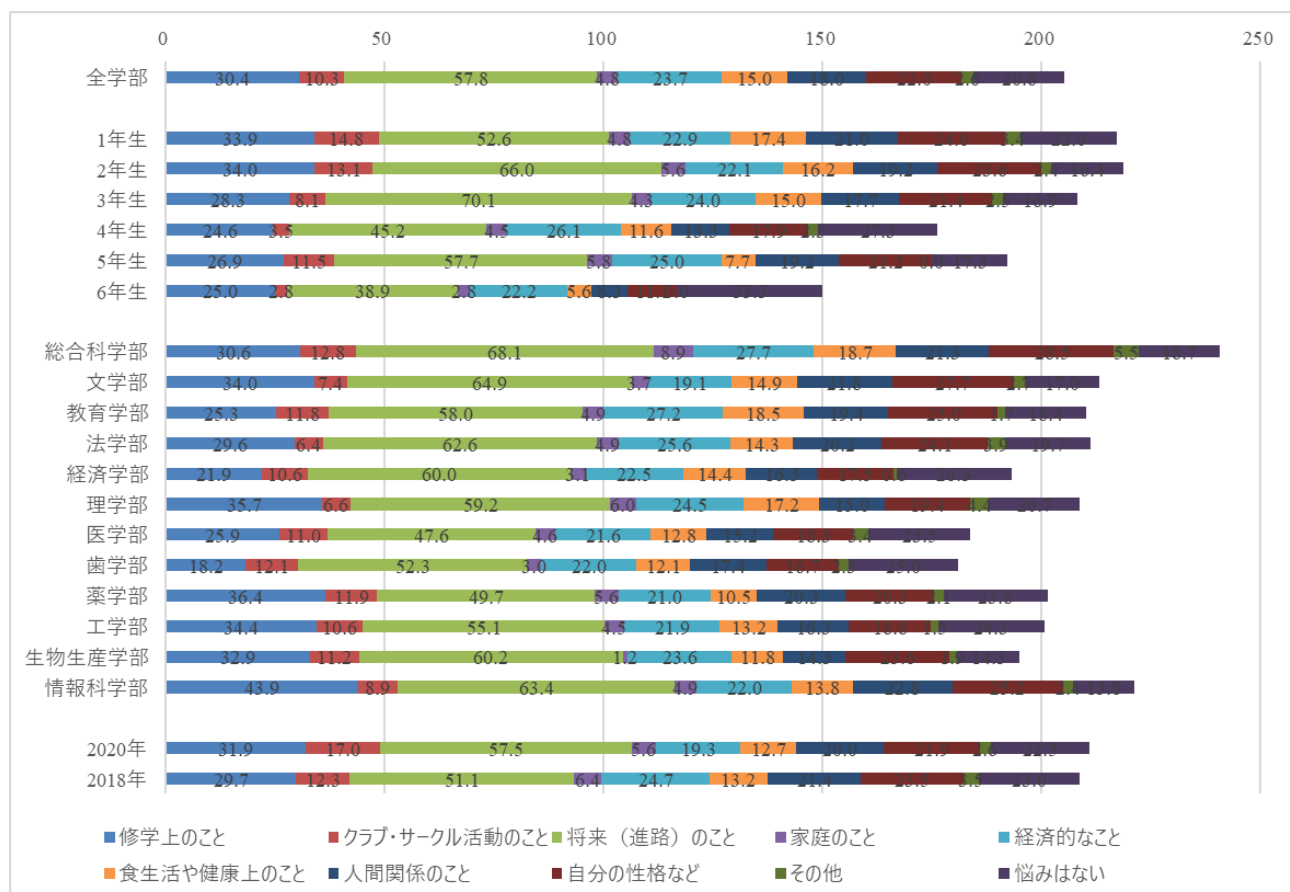
設問 37 今年度、同級生や友人とコミュニケーションが取れていたと感じますか。

全体として、「十分取れている」が68.4%、「やや取れている」が21.6%であり、90%以上の学部生が同級生や友人とコミュニケーションが取れていると感じており、前回調査と比較して増加している。一方、「全然取れていない」と回答した学部生は3.5%であり、前回調査と比較して減少している。



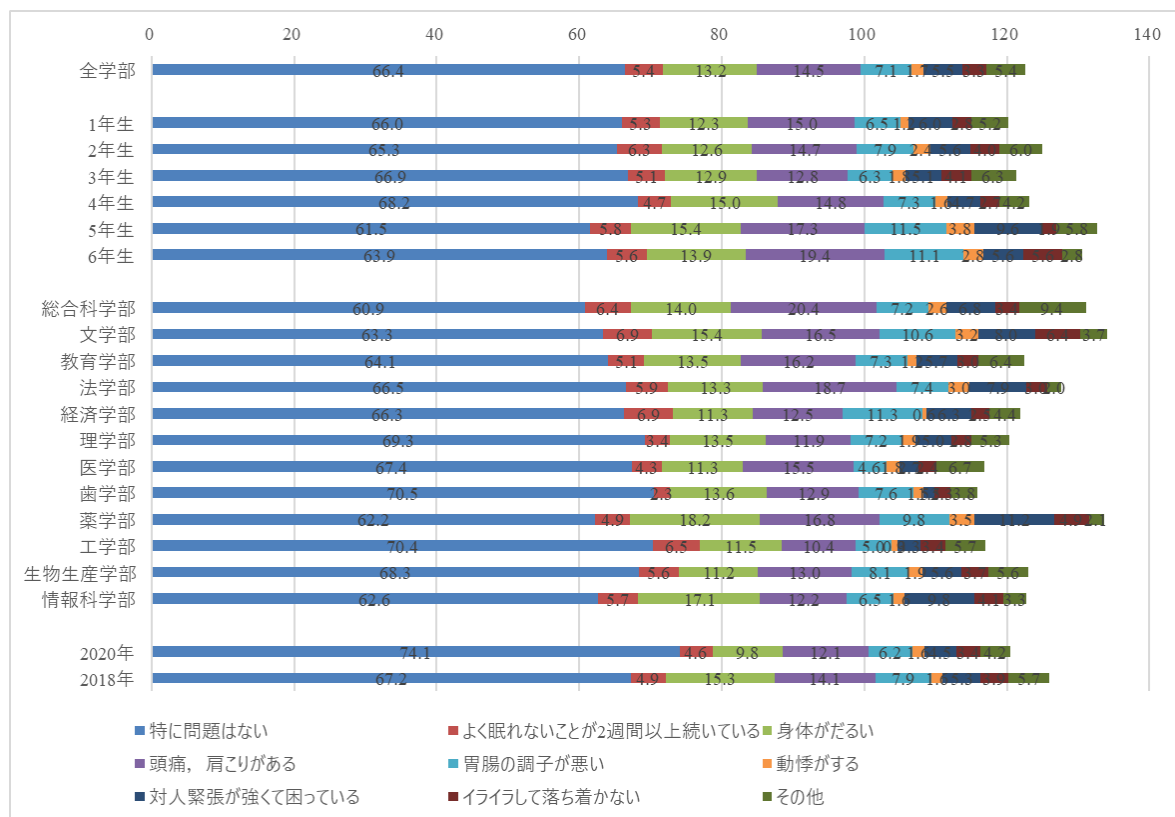
設問 38 学生生活の中で悩みがありますか。(複数回答可)

学部生において、学生生活の悩みとして「将来（進路）のこと」と回答した学部生が最も多く、全体として57.8%である。特に、卒業後の進路を考える学部生が多い3年生では70.1%と高い。「クラブ・サークル活動のこと」と回答した学部生は、前回調査と比較して17.0%から10.3%に減少している。



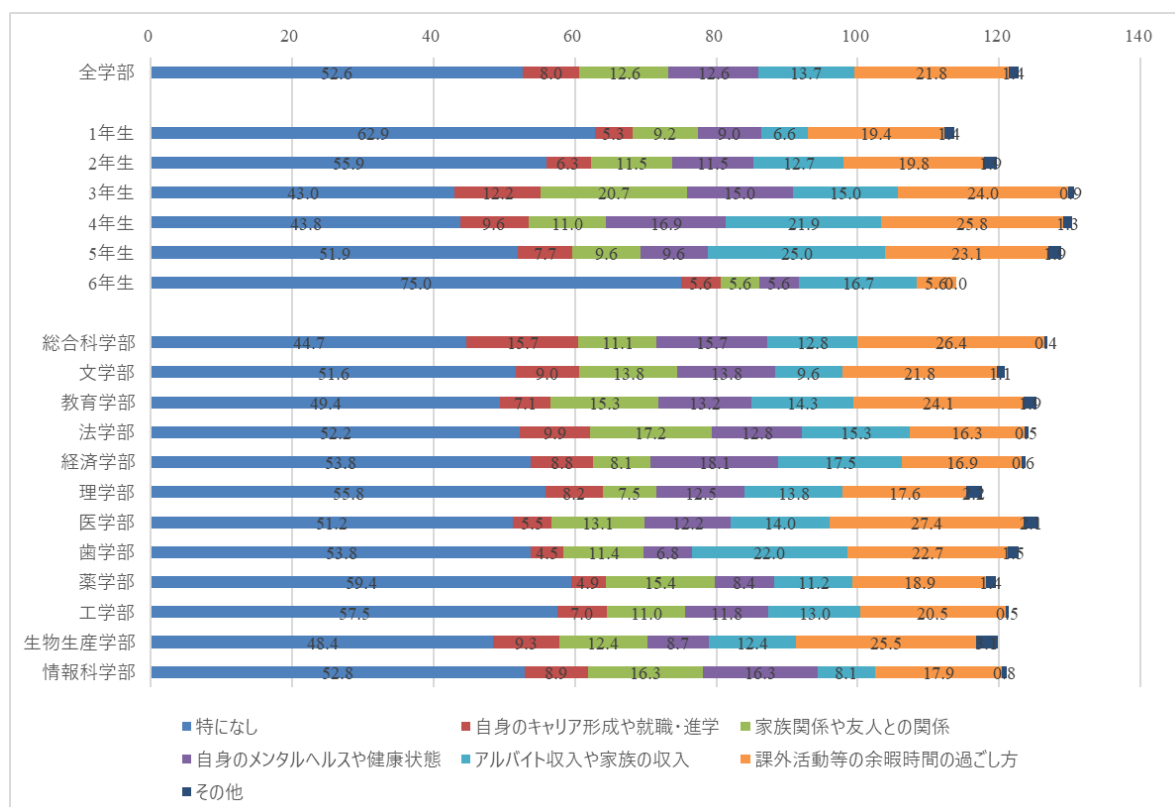
設問 39 現在の健康状態はどうか。(複数回答可)

コロナ自粛時の前回調査(2020年)に比してコロナ発生以前の前々回調査(2018年)の調査所見に若干戻っているような所見を認める(「特に問題はない」が2020年度は74.4%であるのに対し、2018年度と2022年度は67%前後、「身体がだるい」が2020年度は10%未満であったのに対し、2018年度と2022年度は15%弱)。学業・課外活動等再開に合わせた変化であるかもしれない。



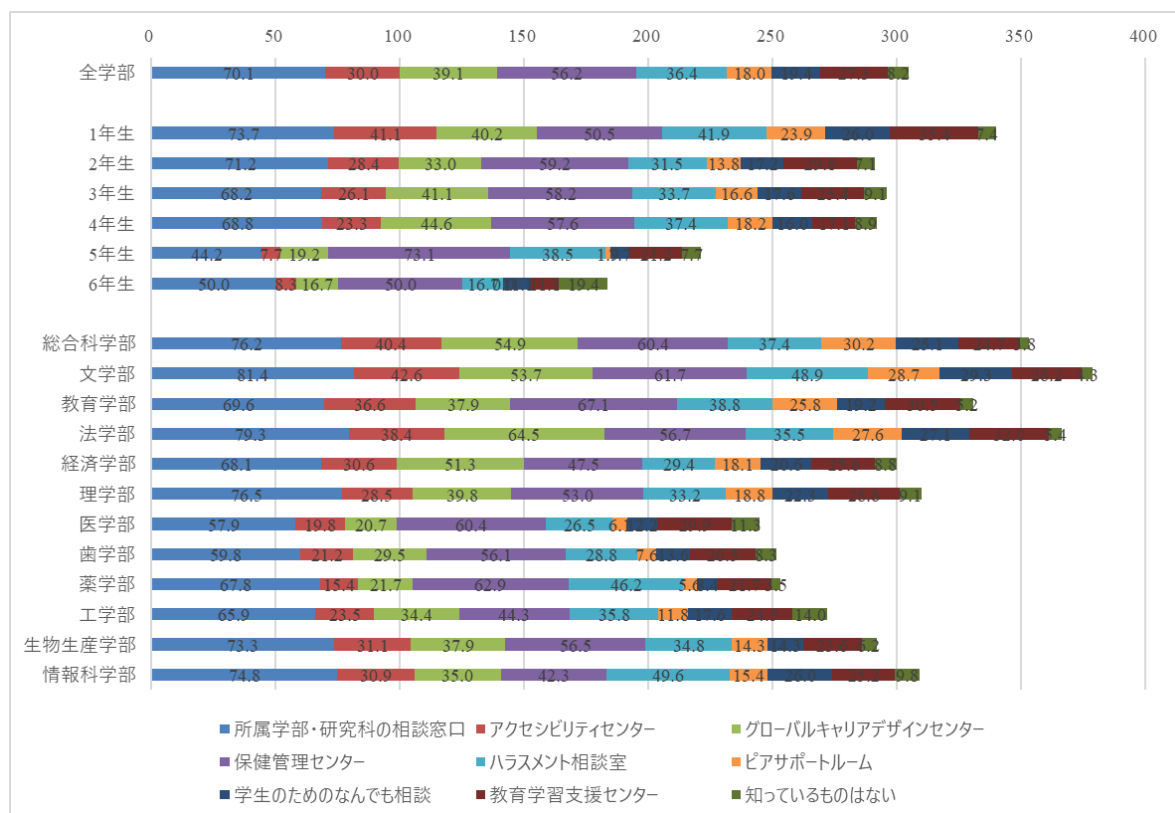
設問 40 新型コロナウイルス感染症の影響による様々な制限により、あなたの生活の中で悪影響を受けたことがありますか。(複数回答可)

調査項目の全てにおいて悪影響を受けたと感じた学部生が多い(全学部で70.1%)ことが認められ、特に3、4年生においてそれが顕著となっているような所見である(3年生87.9%, 4年生86.5%)。



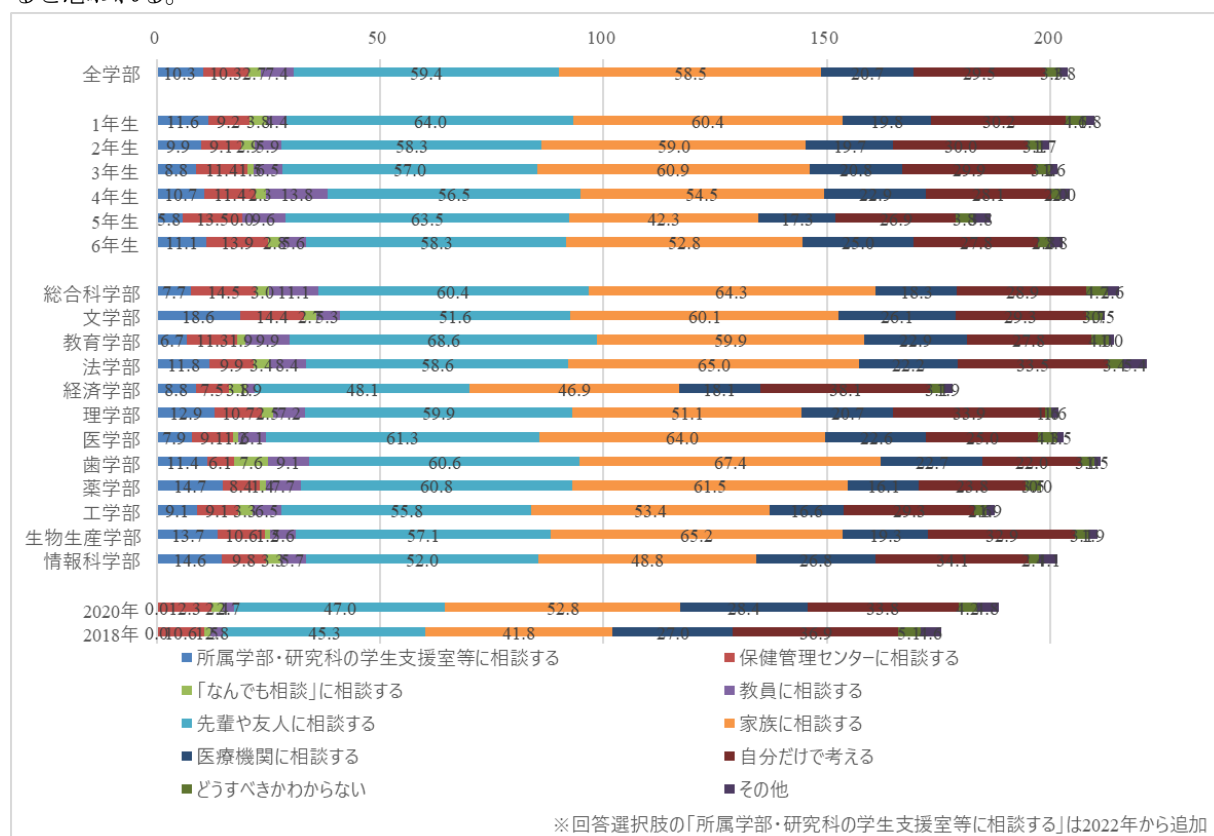
設問 41 本学にある各種相談窓口のうち、知っているものはどれですか。(複数回答可)

「知っているものはない」と回答した学部生は、いずれも学部においても 10%未満であり、相談窓口が十分周知・浸透しているものと思われる。



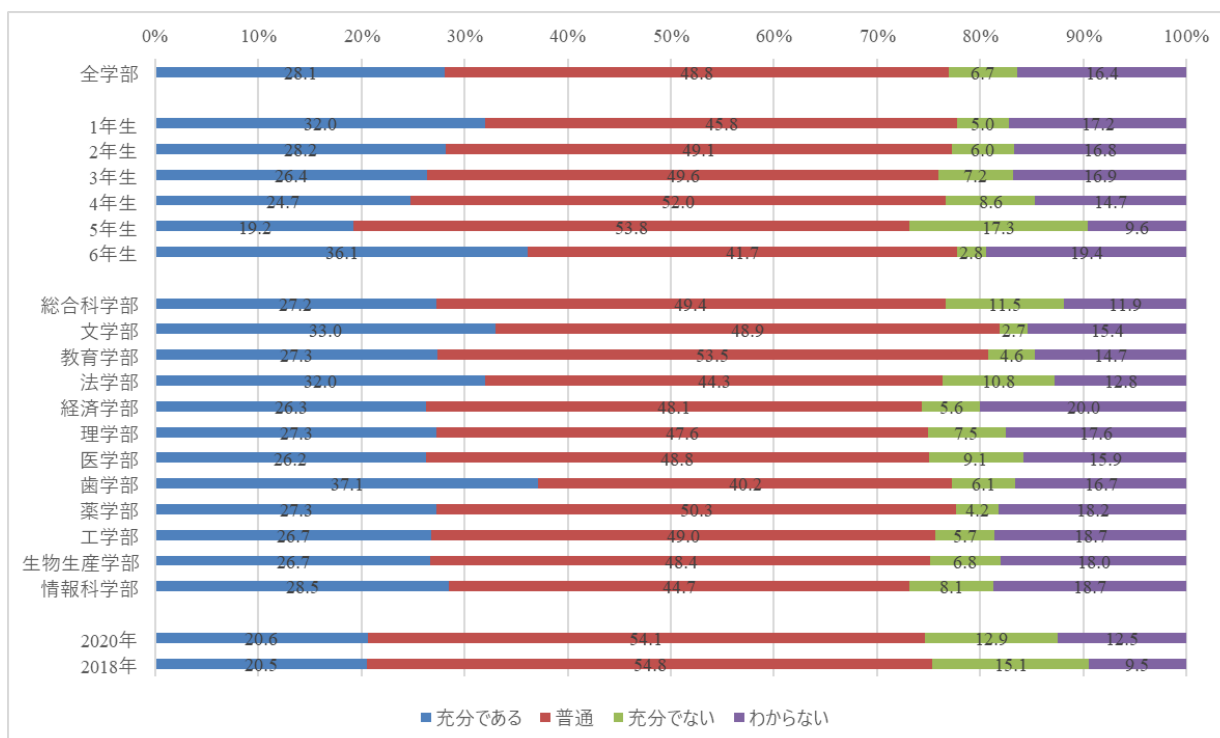
設問 42 身体面、心理面で何か悩みが生じた場合には、解消に向けてどうしますか。(複数回答可)

一人で抱え込む学部生の割合が前回 (2020 年度), 前々回 (2018 年度) 調査より減少している (2018 年度 36.9%, 2020 年度 33.8%, 2022 年度 29.5%) ような所見もあるものの、引き続きのサポート周知が必要であると思われる。



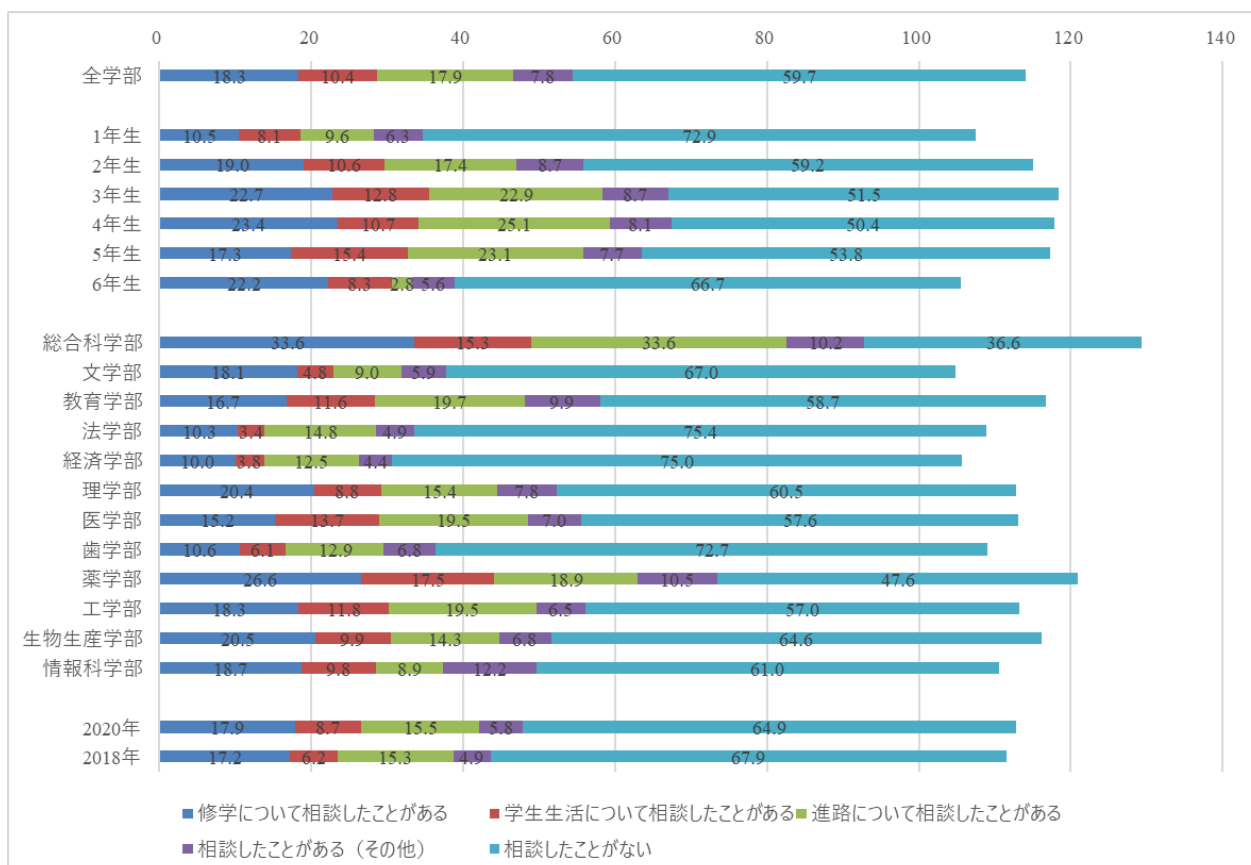
設問 43 授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか。

概ね 80%が充分と回答していることから、当該支援に対し学部生が良好と感じている所見と見受けられる。



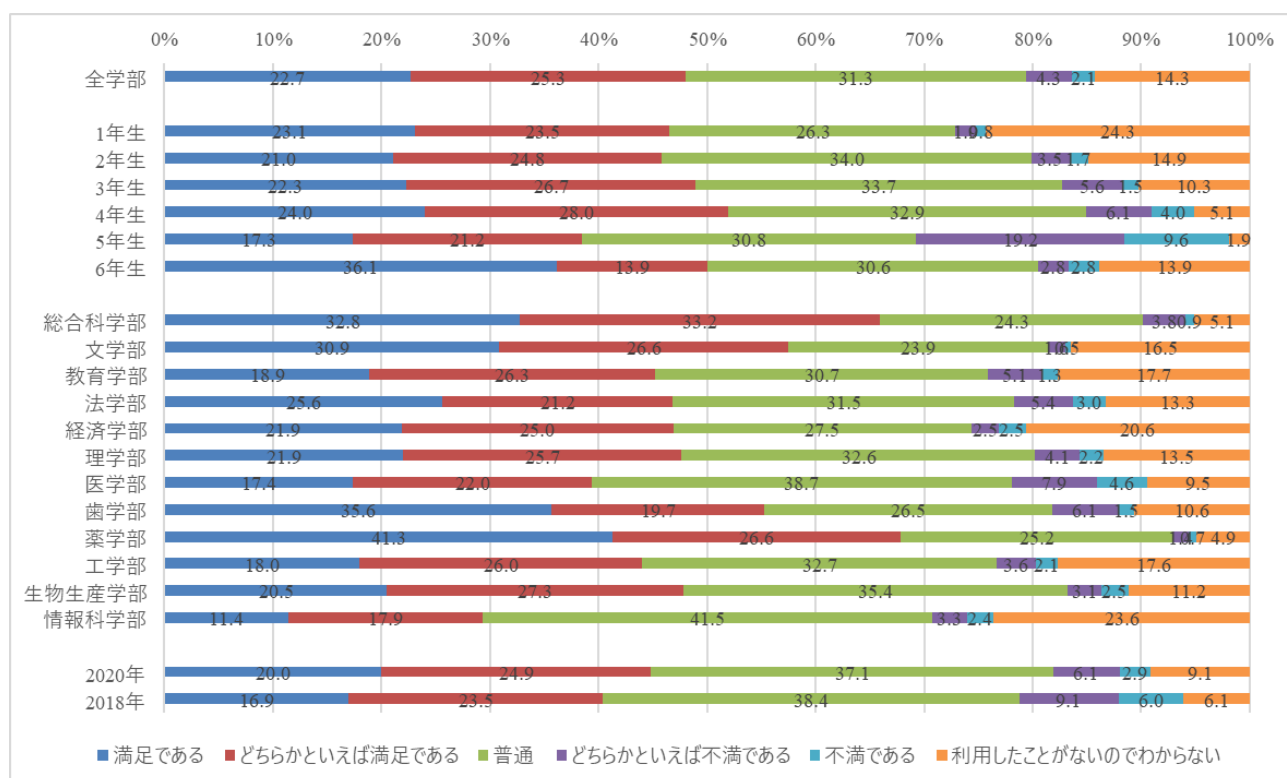
設問 44 修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが、チューターに相談したことがありますか。(複数回答可)

前回(2020年度)調査時から改善傾向を認めるものの、チューター教員に相談したことの無い学部生が依然として多く(59.7%)、特に1年生においては顕著である。新入生ガイダンスや教養ゼミ、初回チューター面談等を通じて教員からの更なるサポートも必要であると思われる。



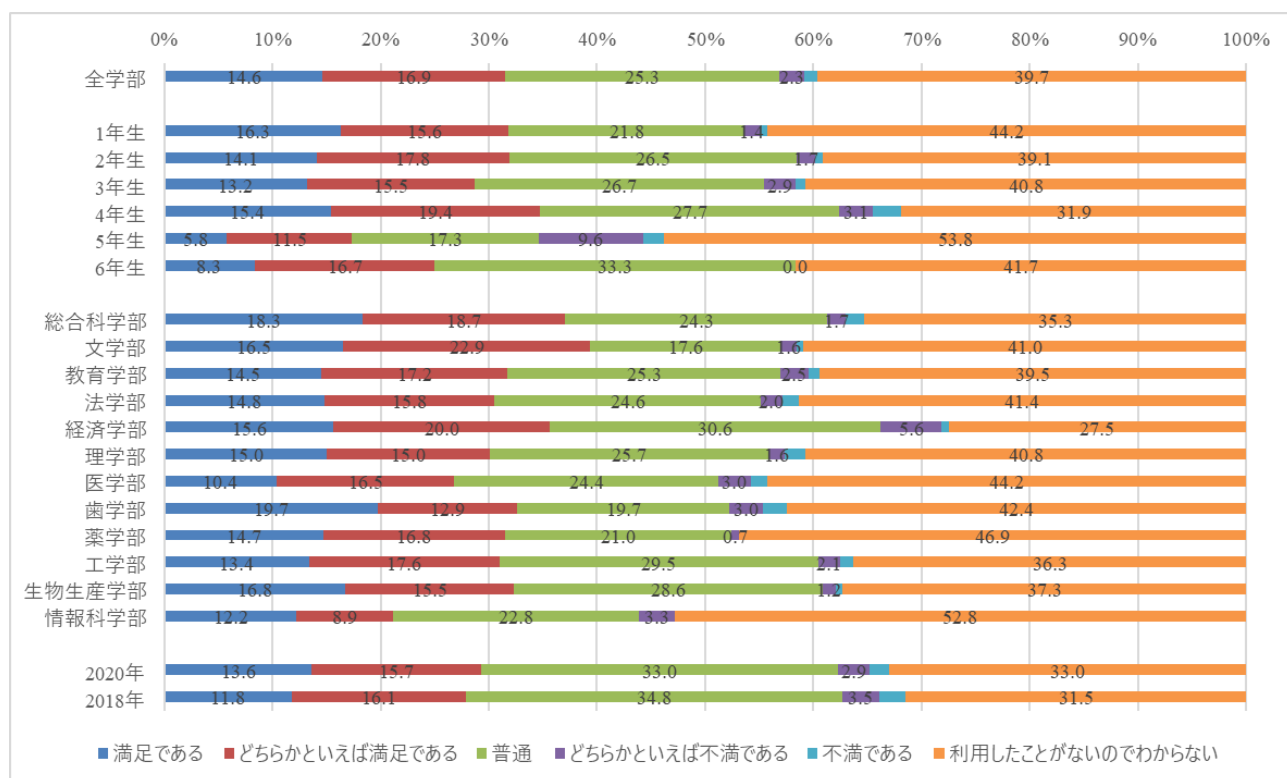
設問 45 所属学部・研究科の学生支援室の対応について、印象や満足度を教えてください。

前回調査と同じく、概ね80%の学部生が満足あるいは普通と答えている所見である。1年生への初年次支援の更なる向上が望まれる。



設問 46 学生プラザの学生支援部門の対応について、印象や満足度を教えてください。

前回（2020年度）および前々回（2018年度）の調査時とほぼ同等の回答所見であるが、利用経験のない学部生の割合（約40%）が依然として多い。各部局における更なる周知向上も求められるところである。



設問 47 本学での教育・学習，学生生活などに関して，全体として「良い」，「楽しい」と感じるなど，満足していますか。

前回（2020 年度）ならびに前々回（2018 年度）調査時に比して学生満足度に向上所見が認められる（2018 年度 59.7%，2020 年度 57.7%，2022 年度 69.0%）。

